

平成28年度全国学力・学習状況調査結果の考察

苫小牧市

公表

平成28年10月28日

苫小牧市教育委員会 教育部 指導室

目次

○平成28年度全国学力・学習状況調査の苫小牧市における調査結果	1
・調査の概要	1
・小学校国語科	2
・小学校算数科	3
・中学校国語科	4
・中学校数学科	5
○平成28年度全国学力・学習状況調査児童質問紙（小学6年児童）調査結果	6
・基本的な生活習慣	6
・自己肯定感	7
・家庭生活（テレビ・ゲーム・インターネット）	8
・家庭生活（学習習慣・学習塾）	9
・学校生活（態度・授業）	12
・社会や地域への関心	14
・道徳的価値観（倫理観）	15
・学習（総合的な学習の時間）	16
・学習（授業に関して）	17
・学習（国語科に関して）	20
・学習（算数科に関して）	22
○平成28年度全国学力・学習状況調査生徒質問紙（中学3年生徒）調査の結果と考察	25
・基本的な生活習慣	25
・自己肯定感	26
・家庭生活（テレビ・ゲーム・インターネット）	28
・家庭生活（学習習慣・学習塾）	29
・学校生活（態度・授業）	32
・社会や地域への関心	34
・道徳的価値観（倫理観）	35
・学習（総合的な学習の時間）	36
・学習（授業に関して）	37
・学習（国語科に関して）	41
・学習（数学科に関して）	44
○平成28年度全国学力・学習状況調査学校質問紙調査の結果と考察	48
・学力向上に向けた取組	48
○平成28年度全国学力・学習状況調査の概況 ～正答数分布グラフ～	52
・小学校国語A	52
・小学校国語B	52
・小学校算数A	53
・小学校算数B	53
・中学校国語A	54
・中学校国語B	54
・中学校数学A	55
・中学校数学B	55

平成28年度全国学力・学習状況調査の苫小牧市における調査結果

平成28年10月 苫小牧市教育委員会

調査の概要

- 1 実施日
平成28年4月19日（火）
- 2 調査対象
(1) 小学校第6学年
(2) 中学校第3学年
- 3 対象学校数及び児童生徒数

	小学校		中学校	
	児童数	学校数	生徒数	学校数
苫小牧市	1, 518	24	1, 464	14
北海道	40, 277	1, 046	41, 221	607

- 4 調査事項
 - (1) 教科に関する調査
 - ①主として「知識」に関する問題（国語A、算数A・数学A）
 - ②主として「活用」に関する問題（国語B、算数B・数学B）
 - (2) 生活習慣、学習環境等に関する質問紙調査
 - ①児童生徒に対する調査（学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等）
 - ②学校に対する調査（指導方法、教育条件の整備等）

苫小牧市の小・中学校における全体的な傾向

☆平均正答率は、小学校では、国語A・B、算数A・Bにおいて、昨年度よりも全国平均との差が大きくなっています。中学校では数学A・Bにおいて昨年度よりも全国平均との差が小さくなっています。

☆児童生徒質問紙から、小・中学校とも宿題や復習の時間が増加し、学習習慣の改善がみられます。

☆児童生徒質問紙から、小学校において、読書が好きという意見や読書習慣の定着がみられます。

☆学校質問紙から、小・中学校とも放課後や長期休業中に補充的な学習サポートの充実がみられます。

☆授業では、ノートに学習のめあてとまとめを書く割合が大幅に増えています。

★平均正答率は、小学校も中学校も全ての教科において、全国平均を下回っており、中学校数学ABを除いては全国との差が大きくなっています。

★小学校の正答数の分布グラフでは、全国の分布に比べて、国語、算数とも上位層が薄く、下位層が厚い傾向がみられます。中でも、国語Aは、分布グラフの頂点が全国に比べて左に寄っています。

★中学校の正答数の分布グラフでは、全国の分布と大体同じですが、下位と中位の間の層に厚い傾向がみられ、数学では中位層にやや厚い傾向がみられます。

★小・中学校ともに共通して、国語の領域においては「言語事項（漢字や文法）」、「読むこと」、数学の領域においては「数や式の計算」、「数学的な見方・考え方」などに課題がみられます。

★児童生徒質問紙から、基本的な生活習慣は改善の傾向がみられますが、スマートフォンを含めたゲームの利用時間は長い傾向がみられます。

小学校 教科に関する調査結果

国語A (小学校) 平成28年度結果

	平均正答数(問/出題数)	平均正答率 (%)
苫小牧市	10.5 / 14	70.0
北海道	10.7 / 14	71.0
全国	10.9 / 14	72.9

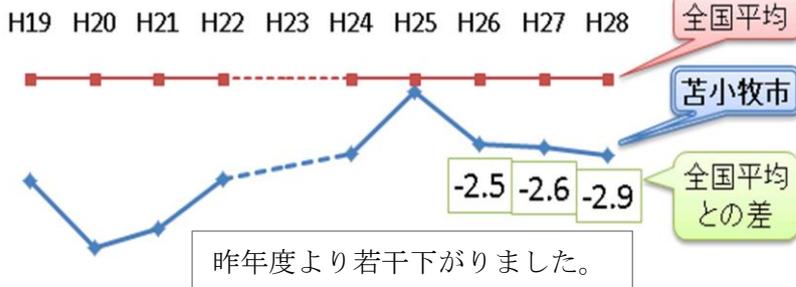
平均正答数

出題数に対する正答数の平均値

平均正答率

問題数を100%とした時の正答数の割合

苫小牧市と全国平均との差(平均正答率)



- ・平成22年度は抽出調査です。
- ・平成23年度は、東日本大震災のため、全国一斉の調査を行っておりません。北海道は実施しましたが、全国平均がないため比較できません。

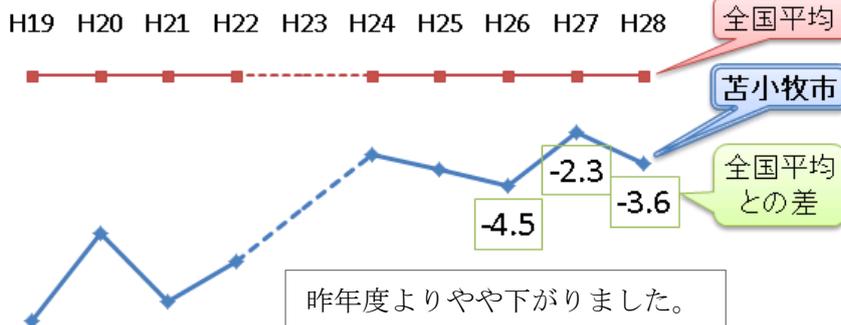
分析と考察

- ◆「言語事項」では、漢字やローマ字を書く、読むことに課題がみられます。
- ◆「話すこと・聞くこと」では、目的や意図に応じて収集した情報を関係付けながら話し合うことについて、課題がみられます。
- ◆「読むこと」では、「登場人物の人物像について、複数の叙述を基にして捉えること」について、正答率が低く、課題が見られます。

国語B (小学校) 平成28年度結果

	平均正答数(問/出題数)	平均正答率 (%)
苫小牧市	5.4 / 9	54.2
北海道	5.6 / 9	56.0
全国	5.8 / 9	57.8

苫小牧市と全国平均との差(平均正答率)



分析と考察

- ◇「目的や意図に応じて、グラフを基に、自分の考えを書く」で、全国平均を上回っています。
- ◆「書くこと」では、グラフを基に分かったことを的確に書いたり、活動報告文において、課題を取り上げた効果を捉えたりすることについて、全国平均を下回っており、課題がみられます。
- ◆「読むこと」では、効果的な読み方を工夫することや、自分の考えを明確にしながら読むことについて、全国平均を下回っており、課題がみられます。
- ◆「話すこと・聞くこと」では、目的に応じて質問したいことを整理したり、質問の意図を捉えたりすることについて、全国平均を下回っており、課題がみられます。

算数A（小学校） 平成28年度結果

	平均正答数(問/出題数)	平均正答率 (%)
苫小牧市	11.9 / 16	74.3
北海道	12.0 / 16	75.3
全国	12.4 / 16	77.6

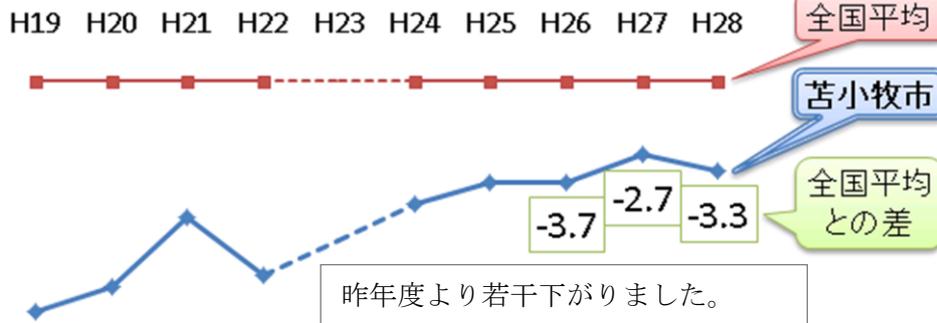
平均正答数

出題数に対する正答数の平均値

平均正答率

問題数を100%とした時の正答数の割合

苫小牧市と全国平均との差(平均正答率)



分析と考察

◇「量と測定」の「単位量当たりの大きさの求め方の理解」が全国平均です。

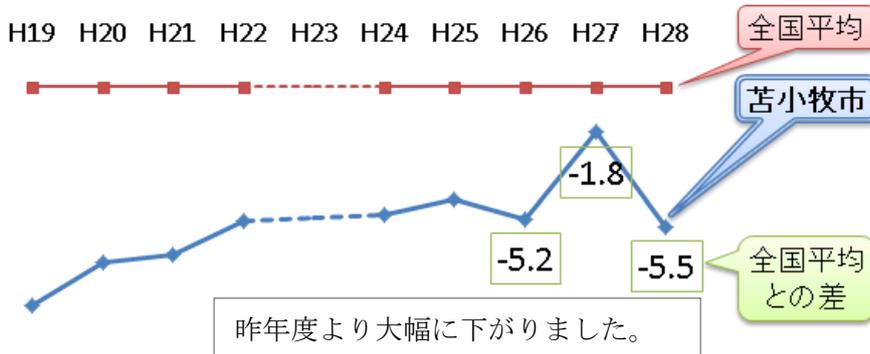
◆「数と計算」では、「分数の乗法の計算をし、約分することや数の大小関係を理解すること」について、全国平均を下回っており、課題がみられます。

◆「図形」では、「図形の構成要素に着目して、図形を構成すること」について、正答率が低く、課題がみられます。

算数B（小学校） 平成28年度結果

	平均正答数(問/出題数)	平均正答率 (%)
苫小牧市	5.4 / 13	41.7
北海道	5.8 / 13	44.5
全国	6.1 / 13	47.2

苫小牧市と全国平均との差(平均正答率)



分析と考察

◆「数と計算」で、「縦にかくことができる正方形の数を求め、24個の正方形をかくことができる理由を記述できること」や「示された式の中の数値の意味を解釈し、それを記述すること」について、正答率が低いことに加えて無解答率が高く、課題がみられます。

◆「数量関係」では、「関係を式に表し、答えを求めること」について、正答率が低く、課題がみられます。

中学校 教科に関する調査結果

国語A（中学校） 平成28年度結果

	平均正答数(問/出題数)	平均正答率 (%)
苫小牧市	24.5 / 33	74.1
北海道	24.8 / 33	75.1
全国	25.0 / 33	75.6

平均正答数

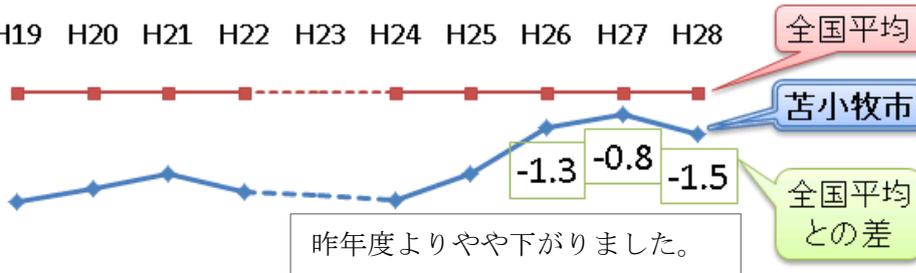
出題数に対する正答数の平均値

平均正答率

問題数を100%とした時の正答数の割合

苫小牧市と全国平均との差(平均正答率)

H19 H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28



- ・平成22年度は抽出調査です。
- ・平成23年度は、東日本大震災のため、全国一斉の調査を行っておりません。北海道は実施しましたが、全国平均がないため比較できません。

分析と考察

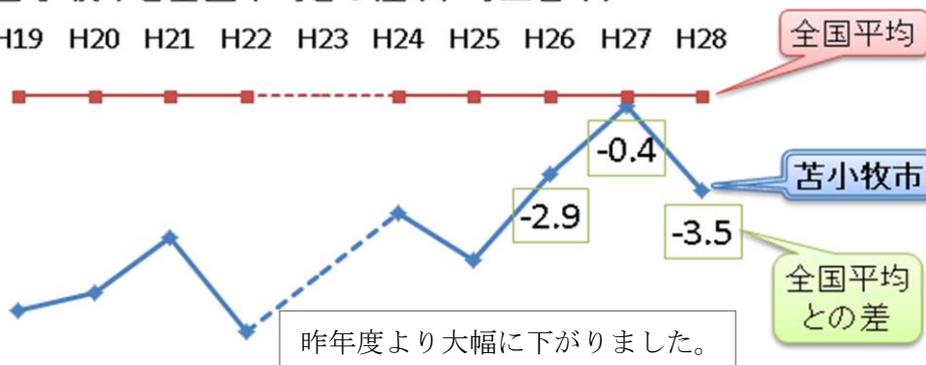
- ◆全体的に全国平均を下回っています。
- ◆「言語事項」では、語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことは全国平均を下回っており、課題がみられます。また、漢字の読みや書きについても正答率が低く、課題がみられます。
- ◆「書くこと」では、「伝えたい事柄について、根拠を明確にして書くこと」について、全国平均を下回っており、課題がみられます。

国語B（中学校） 平成28年度結果

	平均正答数(問/出題数)	平均正答率 (%)
苫小牧市	5.7 / 9	63.0
北海道	5.8 / 9	65.0
全国	6.0 / 9	66.5

苫小牧市と全国平均との差(平均正答率)

H19 H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28



分析と考察

- ◆「読むこと」と「書くこと」では、「本や文章などから必要な情報を読み取り、根拠を明確にして自分の考えを書くこと」について、全国平均を下回っており、課題がみられます。
- ◆「書くこと」では、「文章の構成や表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えを具体的に書くこと」について、正答率が低く、課題がみられます。

数学A（中学校） 平成28年度結果

	平均正答数(問/出題数)	平均正答率 (%)
苫小牧市	21.8 / 36	60.5
北海道	22.2 / 36	61.8
全国	22.4 / 36	62.2

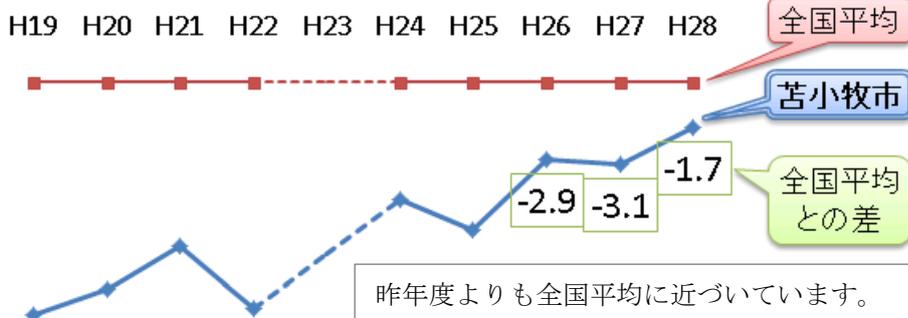
平均正答数

出題数に対する正答数の平均値

平均正答率

問題数を100%とした時の正答数の割合

苫小牧市と全国平均との差(平均正答率)



分析と考察

◇「図形」では、「垂線の作図の方法についての理解」や「見取図に表された立方体の角の大きさの関係を読み取ること」などについて、全国平均を上回っています。

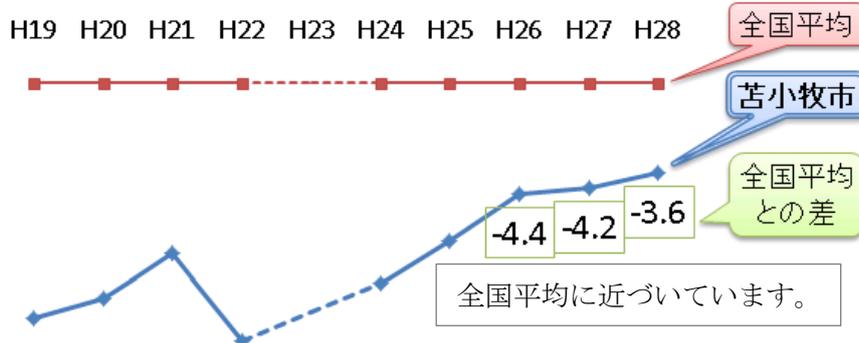
◆「数と式」では、数量の関係を文字式に表すことや具体的な場面で数量の関係を表す式を、等式の性質を用いて、目的に応じて変形させることについて、全国平均を下回っており、課題がみられます。

◆ほぼ全ての領域、全ての評価の観点で、全国平均を下回っており、課題がみられます。

数学B（中学校） 平成28年度結果

	平均正答数(問/出題数)	平均正答率 (%)
苫小牧市	6.1 / 15	40.5
北海道	6.5 / 15	43.3
全国	6.6 / 15	44.1

苫小牧市と全国平均との差(平均正答率)



分析と考察

◆「数と式」では、適切な事柄を判断し、その事柄が成り立つ理由を数学的な表現を用いて説明することについて、全国平均を下回っており、課題がみられます。

◆「図形」では、付加された条件の下で、新たな事柄を見だし、説明することについて正答率が極めて低く、課題がみられます。

◆昨年度に比べて、全国平均に近づきつつありますが、ほぼ全ての領域、全ての評価の観点で、全国平均を下回っており、課題がみられます。

平成28年度全国学力・学習状況調査児童質問紙調査の結果と考察

苫小牧市教育委員会

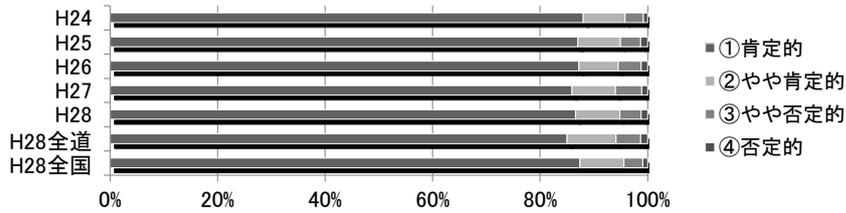
小学6年児童

- ①：肯定的な回答（している・当てはまる・そう思う）
- ②：やや肯定的な回答（どちらかといえば、している・当てはまる・そう思う）
- ③：やや否定的な回答（あまりしていない、どちらかといえば、当てはまらない・そう思わない）
- ④：否定的な回答（まったくしていない・当てはまらない・そう思わない）

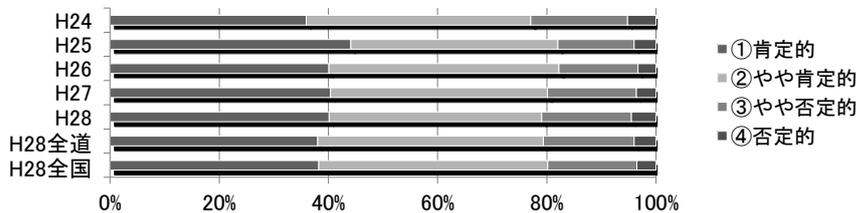
基本的な生活習慣

【考察】 基本的な生活習慣は、全国との比較や本市における5年間の推移から、「朝食を毎日食べている」ことに課題がみられる。学校と家庭の連携強化による基本的な生活習慣の定着・改善が望まれる。

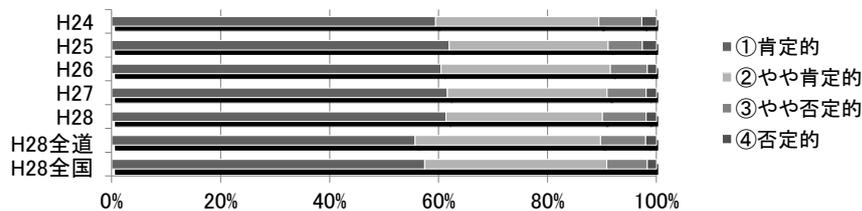
1 朝食を毎日食べている。



2 毎日、同じくらいの時刻に寝ている。



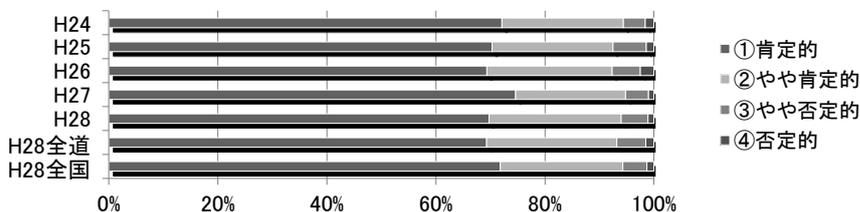
3 毎日、同じくらいの時刻に起きている。



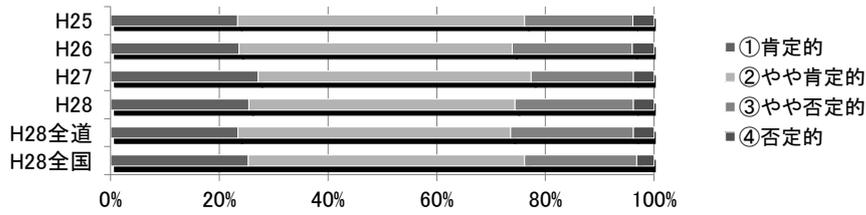
自己肯定感

【考察】 自己肯定感については、全体的に大きな差は見られないが「自分にはよいところがあると思う」という項目で全国と差が見られる。今後も、自己肯定感が高まるよう、成功体験を積み重ねる中から児童のよさを価値付けていく指導を推進する必要がある。

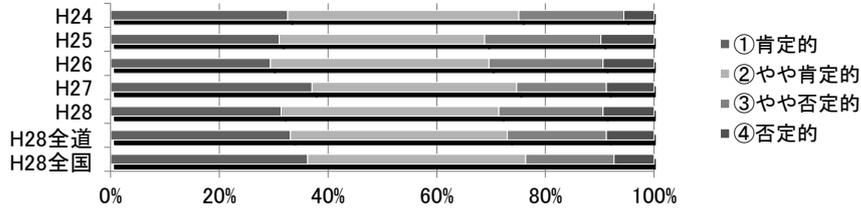
4 ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある。



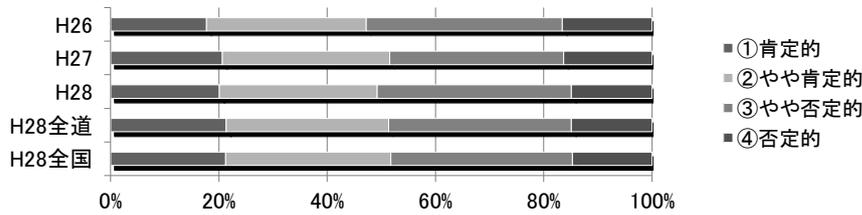
5 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している。



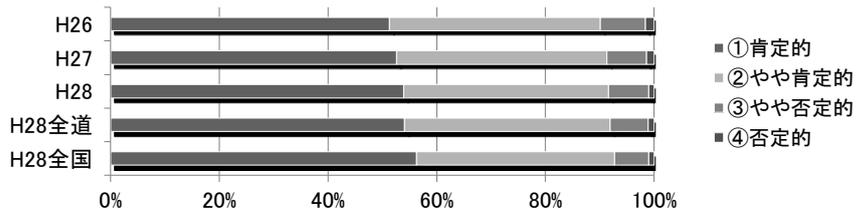
6 自分には、よいところがあると思う。



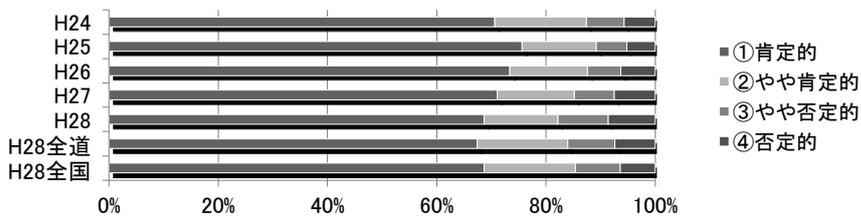
7 友だちの前で自分の考えや意見を発表することが得意である。



8 友だちと話し合うとき、友だちの話や意見を最後まで聞くことができる。



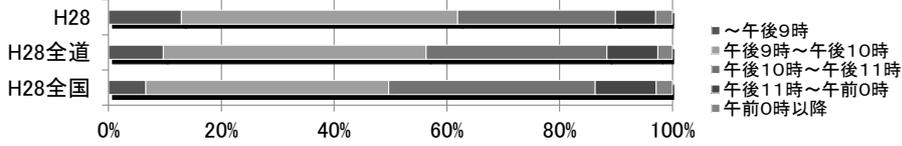
9 将来の夢や目標をもっている。



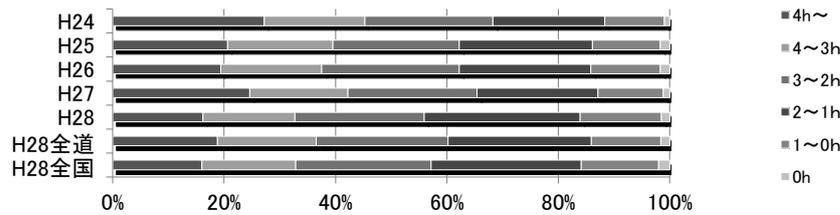
家庭生活(テレビ・ゲーム・インターネット)

【考察】 本市の一日当たりのテレビやビデオ・DVDの視聴時間やテレビゲームの利用時間は昨年に比べて減少している。今後もテレビの視聴時間、テレビゲームやスマートフォンの利用時間について、学校と家庭が課題を共有し、とまこまい学びの3か条に沿った取組を進めていく必要がある。

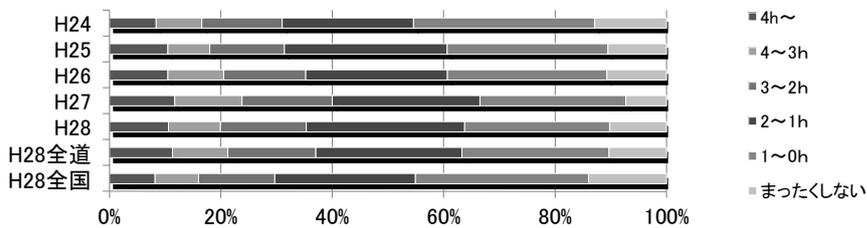
〈睡眠時間〉
10 普段(月～金)、睡眠時刻。(新設問)



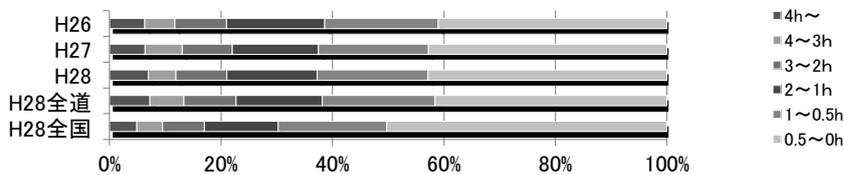
11 普段(月～金)、一日当たりのテレビやビデオ・DVDの視聴時間。



12 普段(月～金)、1日当たりのテレビゲームの利用時間。(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)



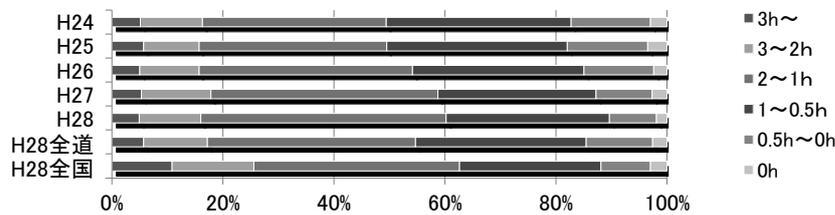
13 普段(月～金)、一日当たりの通話やメール、インターネットの利用時間(ゲームを除く)



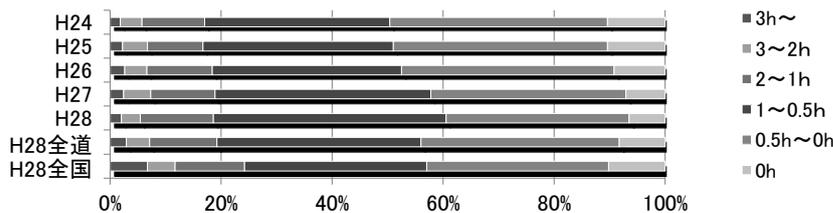
家庭生活(学習習慣・学習塾)

【考察】 家庭学習については「計画を立てて」「予習をする」「復習する」割合が増加するなど、ほぼ、全国と同等、又は全国を上回っている。読書に関する項目でも全国を上回る割合となっている。しかし、家庭学習時間については、市が掲げた目安の「70分」以上の割合は6割程度にとどまっている。家庭学習の時間が目安に到達するよう、これまで以上に学校と家庭が連携していく必要がある。

14 普段(月～金)、学校の授業時間以外の日当たりの学習時間。



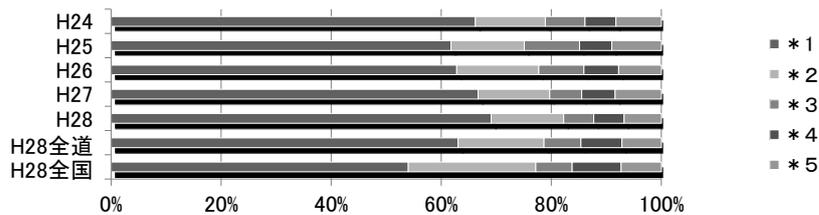
15 休日(土・日等)、一日当たりの学習時間。



〈学習塾〉

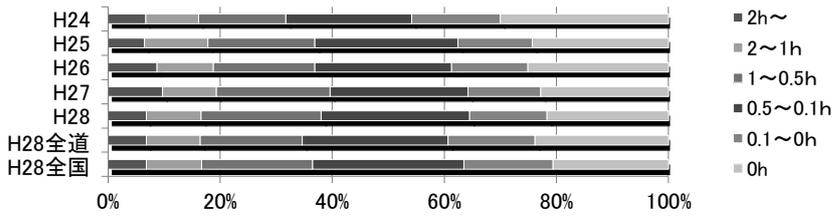
16 学習塾(家庭教師を含む)で勉強している児童の割合

- * 1 : 学習塾に通っていない。 * 2 : 進んだ内容や難しい内容を勉強している。
- * 3 : よく分からなかった内容を勉強している。 * 4 : 2・3両方の内容を勉強している。
- * 5 : 2・3の内容どちらともいえない。

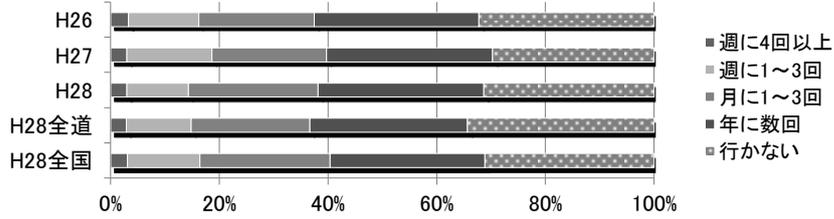


〈読書〉

17 普段(月～金)、家や図書館における一日あたりの読書時間。

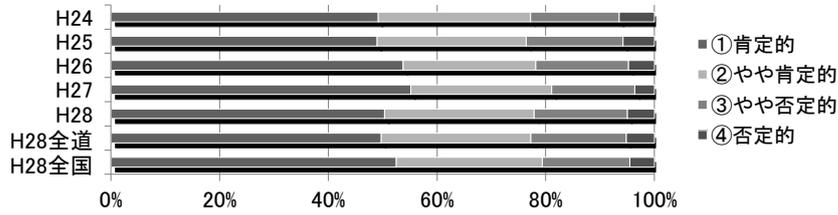


18 本を借りたり読んだりするために学校図書館を利用する割合。

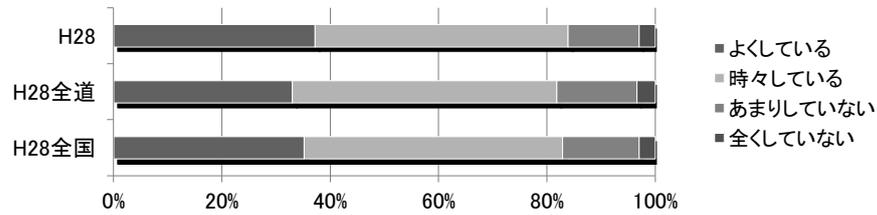


〈家の人に関して〉

19 家の人と学校での出来事について話をしている。

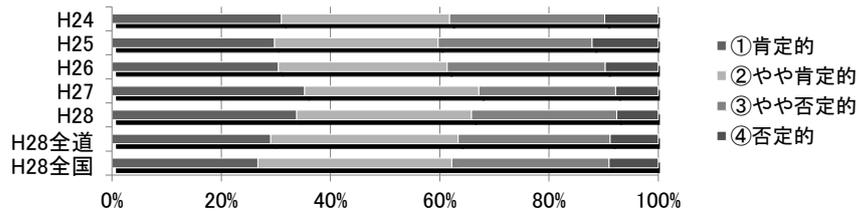


20 家の手伝いをしている。(新設問)

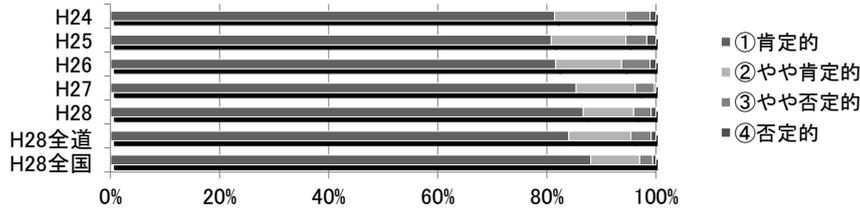


〈家庭学習〉

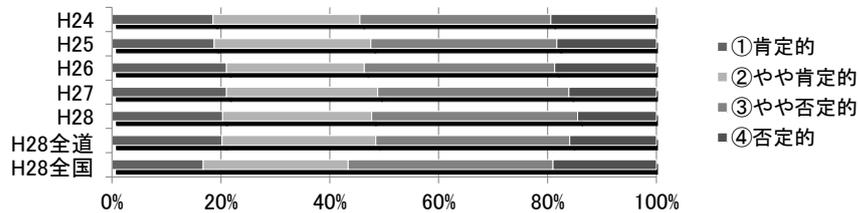
21 自分で計画を立てて勉強している。



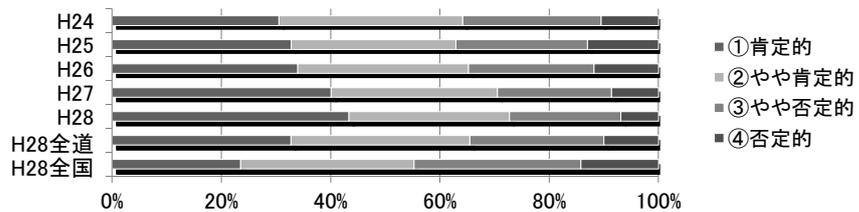
22 学校の宿題をしている。



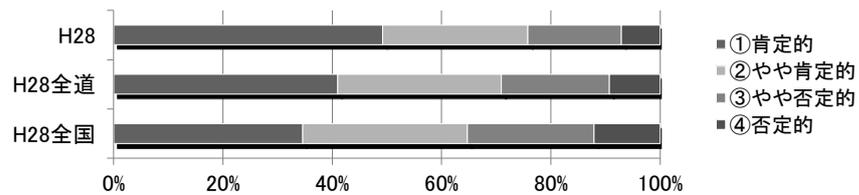
23 学校の授業の予習をしている。



24 学校の授業の復習をしている。



25 自学自習において、教科書を使いながら学習している。(新設問)

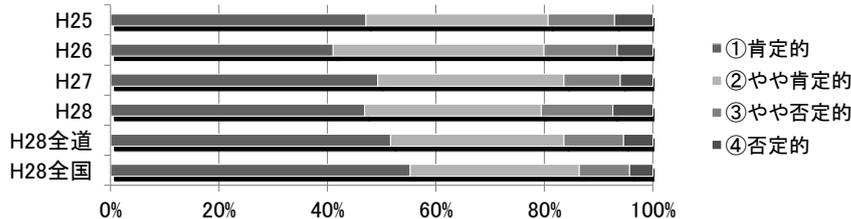


学校生活(態度・授業)

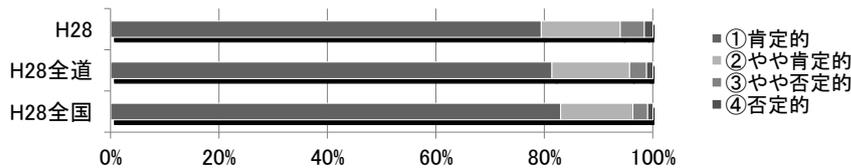
【考察】 「学校に行くのが楽しい」と回答している割合は、全国と比較すると少ない。日常の学校生活や授業を充実させていく必要がある。しかし、「先生に認めてもらう」ことや「理解していないところを分かるまで教えてくれる」といった設問において、全国を上回っている。

〈学校生活〉

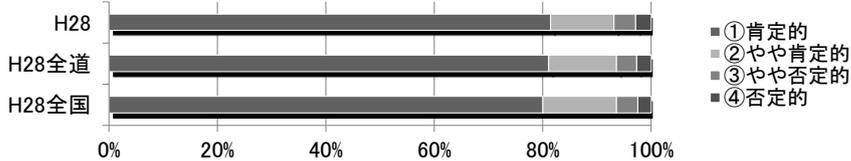
26 学校に行くのは楽しい。



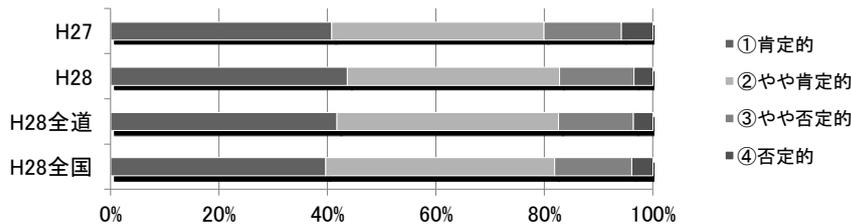
27 学校で、友達に会うのは楽しい。(新設問)



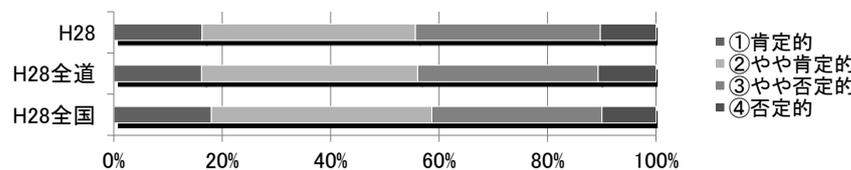
28 好きな授業がある。(新設問)



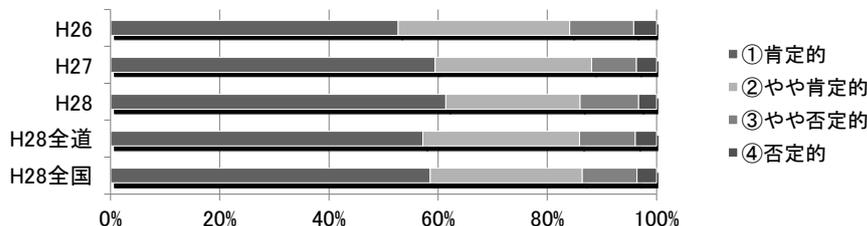
29 学級会などの時間に友達同士で話し合って学級のきまりなどを決めている。



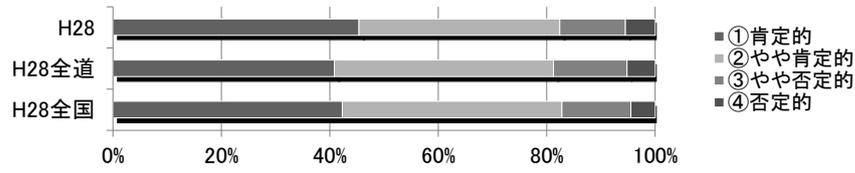
30 異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめている。(新設問)



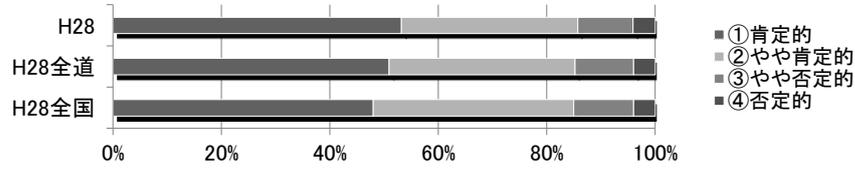
31 学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある。



32 先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う。(新設問)



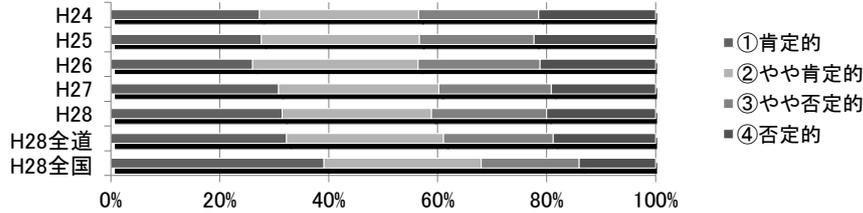
33 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる。(新設問)



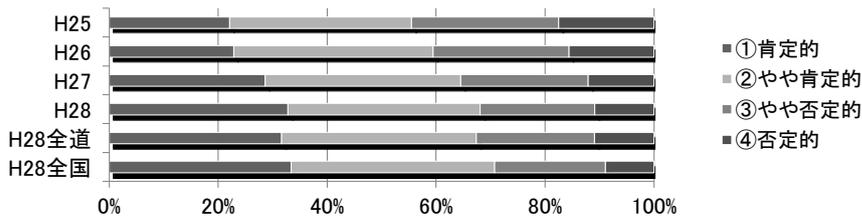
社会や地域への関心

【考察】 「新聞を読む」ことや「テレビやインターネットでニュースを見る」ことについては全国と同等の割合である。しかし、「今住んでいる地域の行事に参加している」については、全国を下回っている。社会や地域に対して主体的に関わりをもつ資質や能力の育成が求められることから、特別活動だけではなく、日常の授業においても、地域社会のことを取り上げるなどの工夫が必要である。

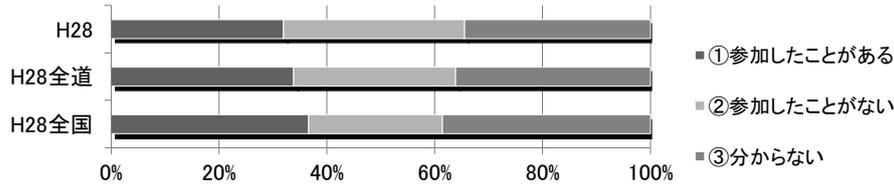
34 今住んでいる地域の行事に参加している。



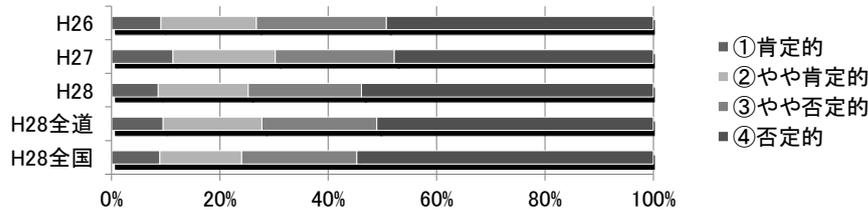
35 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある。



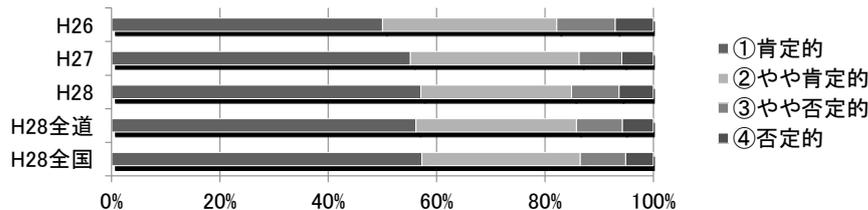
36 地域社会などでボランティア活動に参加したことがある。（新設問）



37 新聞を読んでいる。



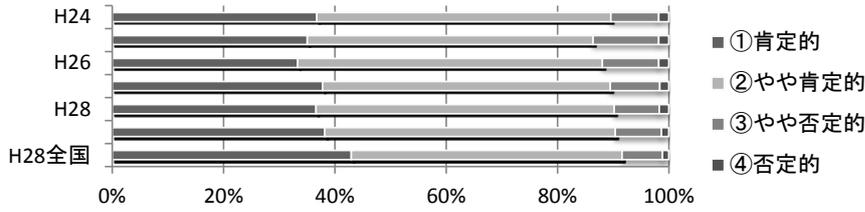
38 テレビやインターネットでニュースを見る。



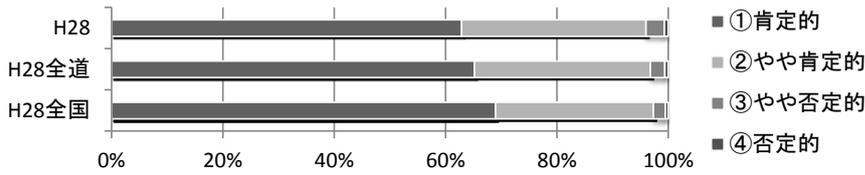
道徳的価値観(倫理観)

【考察】 ほとんどの項目について、全国と同等の割合となっている。いじめについては、どんな理由があってもいけないと考える児童の割合が全国を上回っている。今後も引き続き、自己肯定感を高め、自己肯定感を高めるように道徳の時間を要とした道徳教育の充実が必要である。

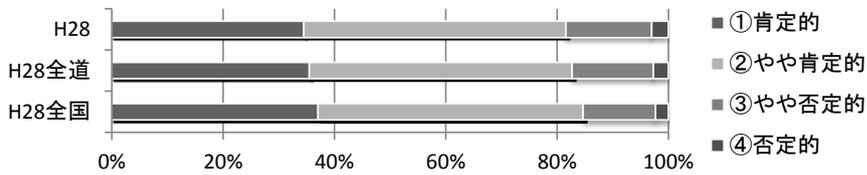
39 学校のきまりを守っている。



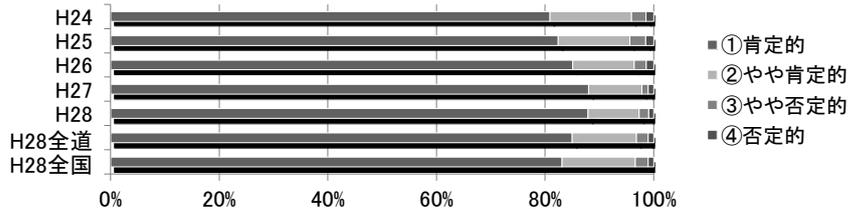
40 友達との約束を守っている。(新設問)



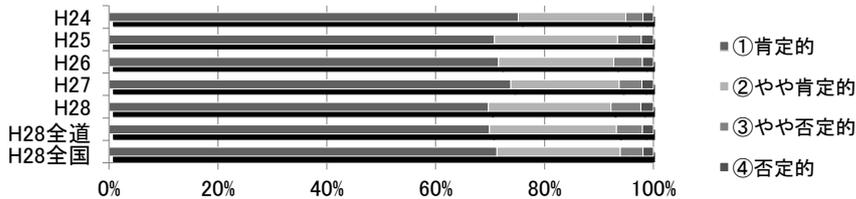
41 人が困っているときは、進んで助けている。(新設問)



42 いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う。



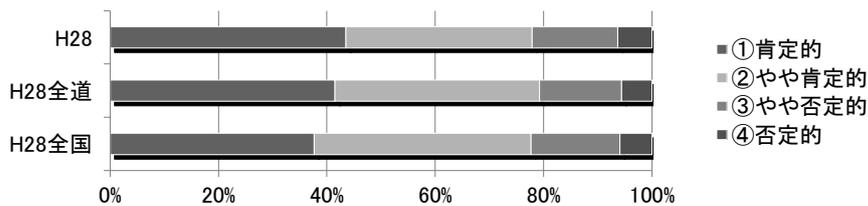
43 人の役に立つ人間になりたいと思う。



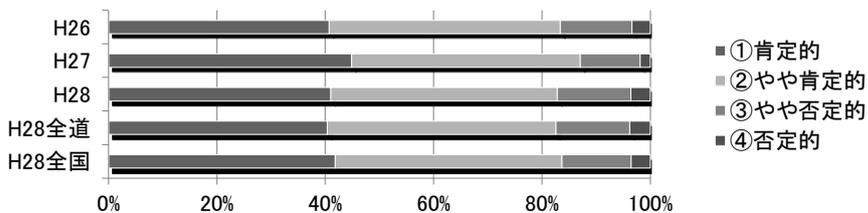
学習 (総合的な学習の時間)

【考察】 ほとんどの項目について、全国とほぼ同等である。「自分で課題を立て、情報を整理して発表する」ことについては、他の教科で身に付けた力を活用することを継続する必要がある。

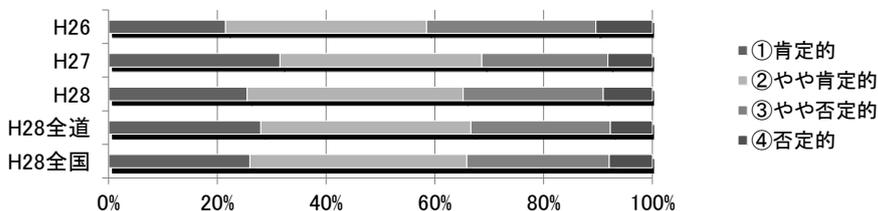
44 「総合的な学習の時間」の勉強は好きである。(新設問)



45 「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは普段の生活や社会で役に立つ。



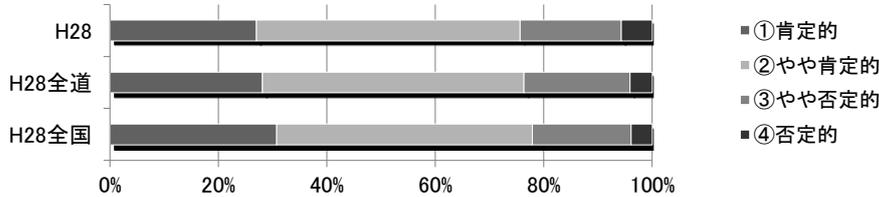
46 「総合的な学習の時間」に、自分で課題を立て、情報を整理して発表するなどをしている。



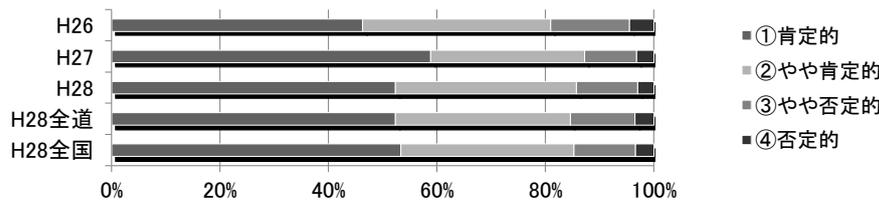
学習 (授業に関して)

【考察】 「授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていた」については、全国を上回っている。しかし、今年からの新しい設問（「自ら考え自ら取り組む」「自分の考えをしっかりと伝える」「資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表する」）については全国を下回っていることから、児童の主体的な学習に向けた取組を進める必要がある。

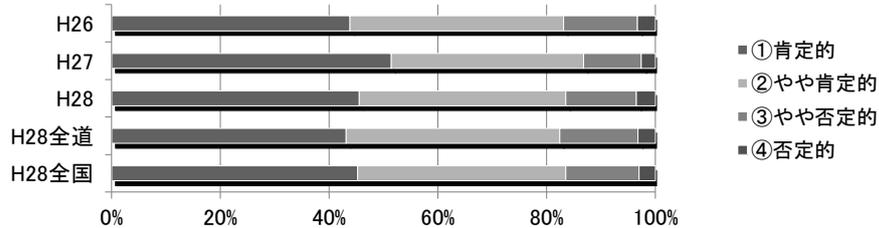
47 5年生までに受けた授業では、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいた。（新設問）



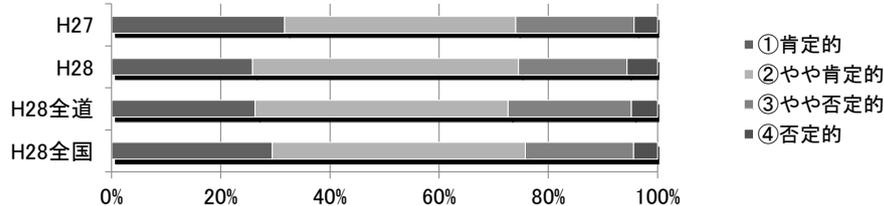
48 5年生まで受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていた。



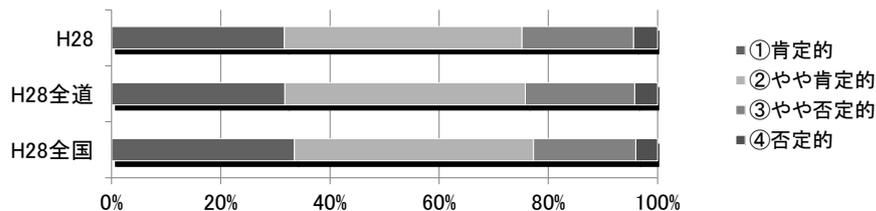
49 5年生まで受けた授業では、学級の友だちと話し合う活動をよく行っていた。



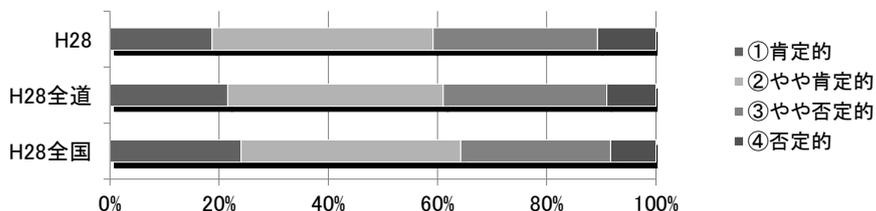
50 5年生まで受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいた。



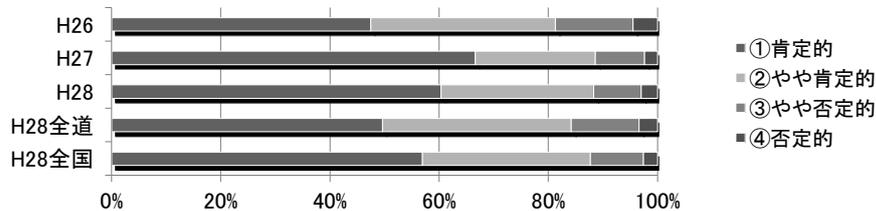
51 5年生までに受けた授業で、学級の友達との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていた。（新設問）



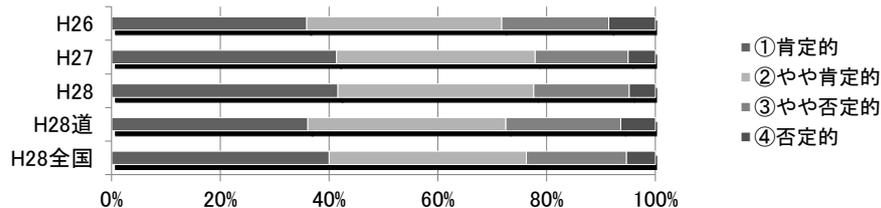
52 5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していた。（新設問）



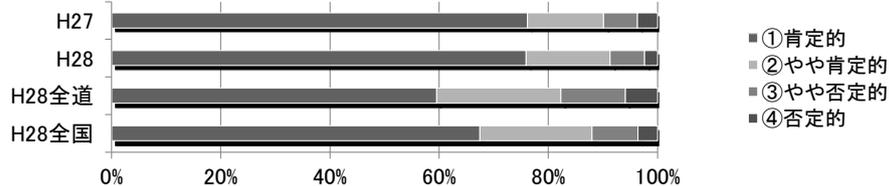
53 5年生まで受けた授業のはじめには、目標（めあて・ねらい）が示されていた。



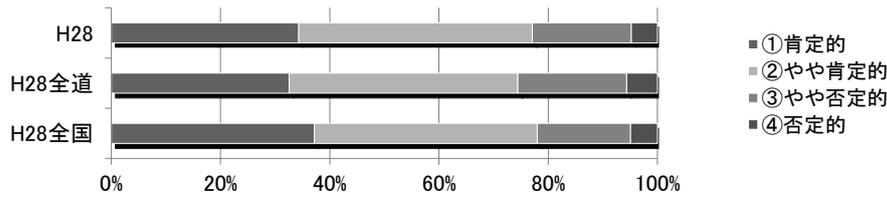
54 5年生まで受けた授業の最後には、学習内容を振り返る活動を行っていた。



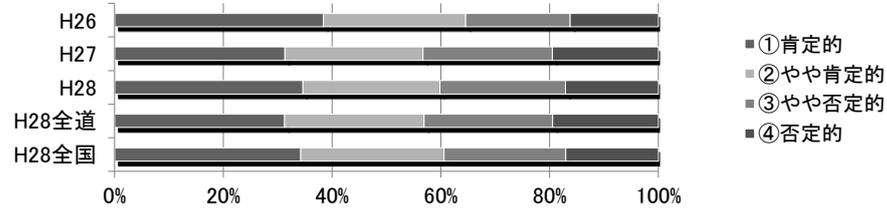
55 5年生まで受けた授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いてい（新設問）



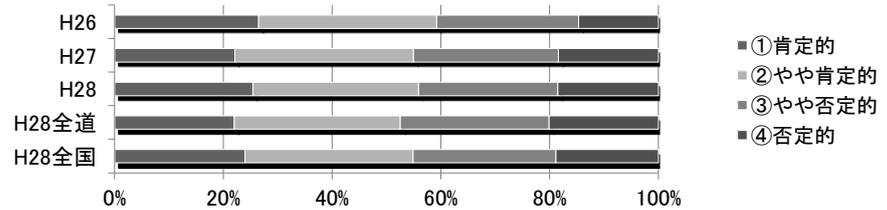
56 5年生までに受けた道徳の時間では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいた。(新設問)



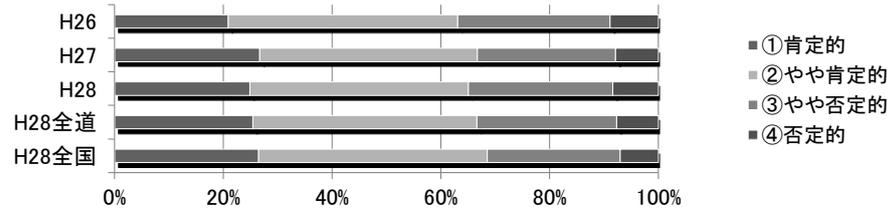
57 400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しい。



58 学校の授業などで、自分の考えを説明したり、文章に書いたりすることは難しい。

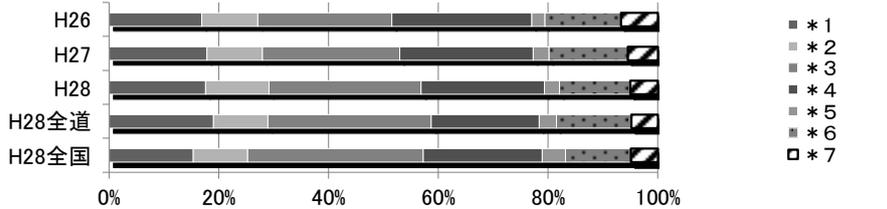


59 学級の友達との間で、話し合う活動を通じて、考えを深めたり広げたりすることができている。



60 授業の中でわからないことがあったら、どうすることが多いですか。

- * 1 : その場で先生に尋ねる。 * 2 : 授業が終わってから先生に尋ねる。 * 3 : 友だちに尋ねる。
- * 4 : 家の人に尋ねる。 * 5 : 学習塾(家庭教師も含む)に尋ねる。 * 6 : 自分で調べる。
- * 7 : そのままにしておく。

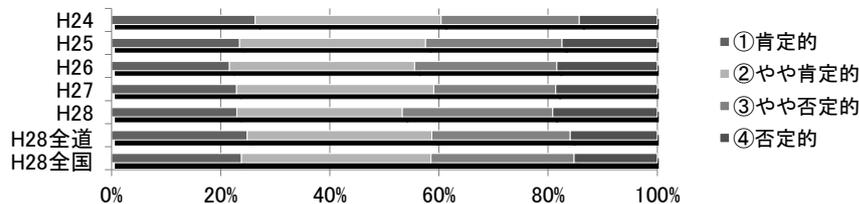


学習 (国語科に関して)

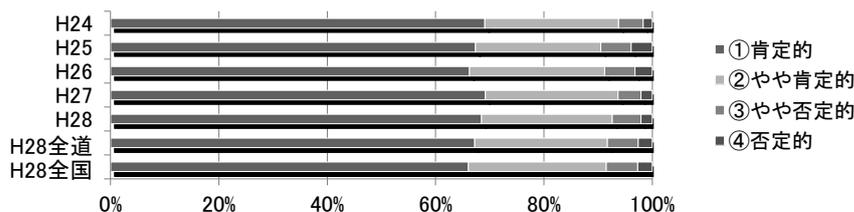
【考察】 「国語の勉強は好き」や「よくわかる」といった質問項目について、肯定的な回答の割合がやや減少した。しかし、「読書が好き」「社会に出たとき役立つ」の項目では全国を上回っている。目的に応じて読み、自分の考えを話したり書いたりすることや、話の組み立てを工夫することに課題がある。こうした課題の解決に向けて、子どもたちが目的意識をもって主体的に学習に取り組めるよう、授業改善を進める必要がある。

〈国語科〉

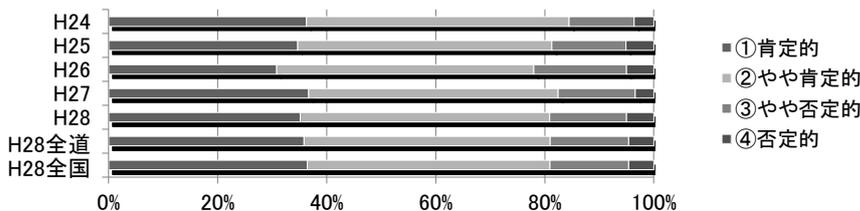
61 国語の勉強は好き。



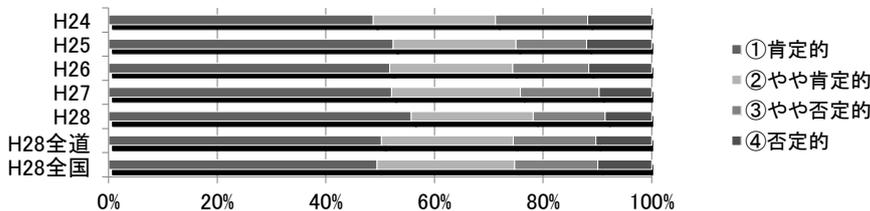
62 国語の勉強は大切だ。



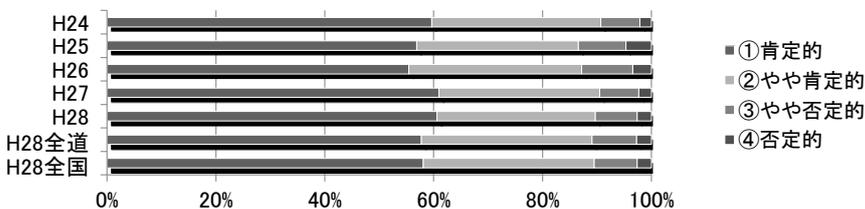
63 国語の授業の内容はよく分かる。



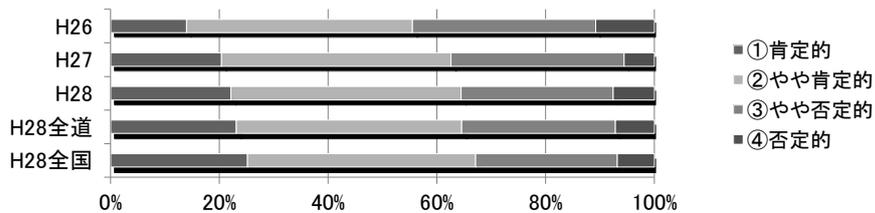
64 読書は好き。



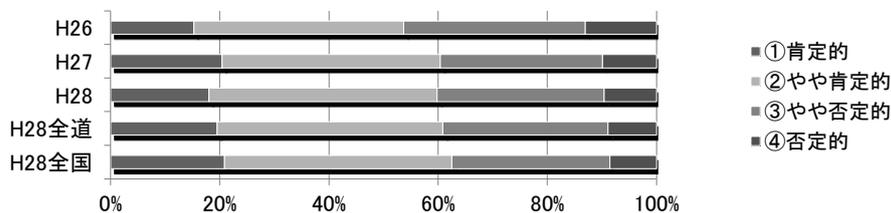
65 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。



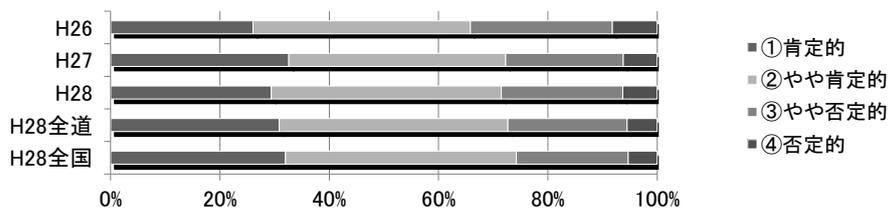
66 国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている。



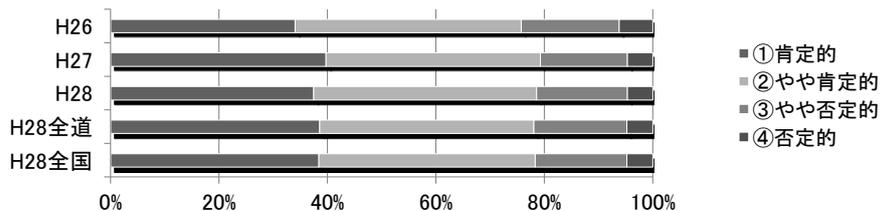
67 国語の授業で意見を発表するとき、うまく伝えるように話の組み立てを工夫している。



68 国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由がわかるように気をつけている。

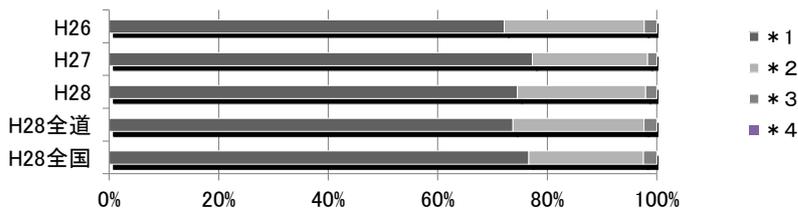


69 国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめりごとに内容を理解しながら読んでいる。



70 今回の国語の問題について、文章を書く問題でどのように回答したか

- * 1 : 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した。
- * 2 : 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めたりしたものがあつた。
- * 3 : 書く問題は全く回答しなかった。 * 4 : その他

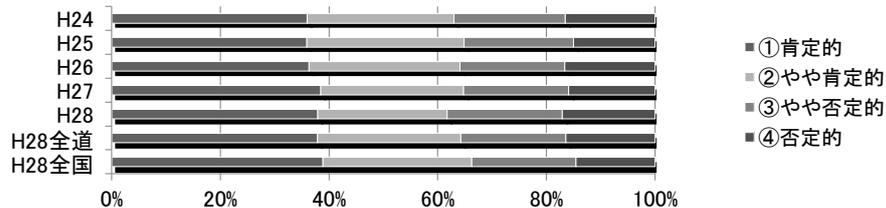


学習(算数科に関して)

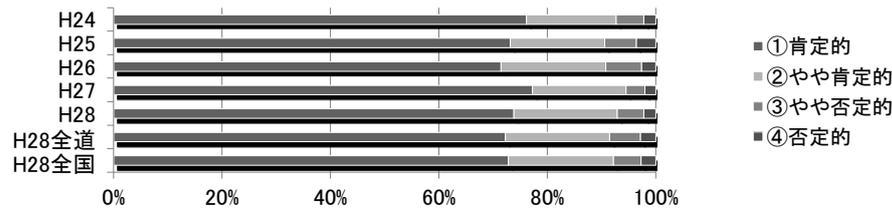
【考察】 ほぼ全ての質問項目について、全国と同等である。肯定的な回答が増加している。しかし、「問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている」といった項目は、全国を下回っている。こうした課題の解決に向けた授業改善を進め、子どもたちが主体的に取り組む授業にしていく必要がある。

〈算数科〉

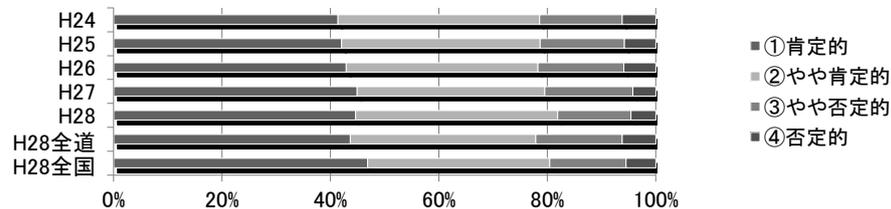
71 算数の勉強は好き。



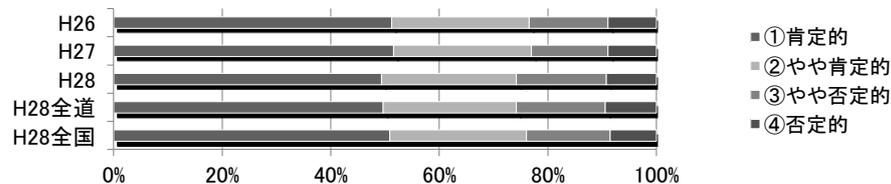
72 算数の勉強は大切だ。



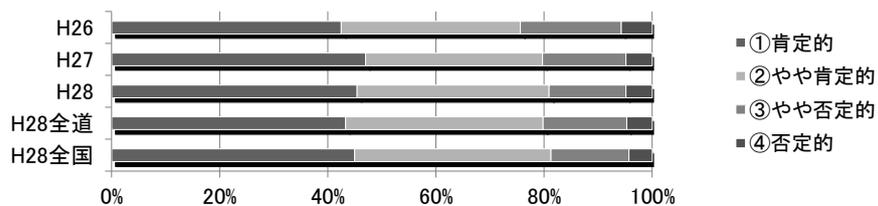
73 算数の授業の内容はよく分かる。



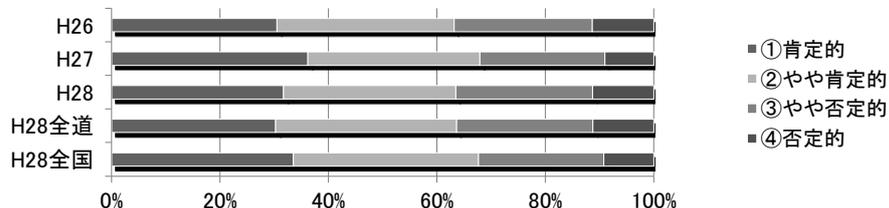
74 算数の授業で新しい問題に出会ったとき、それを解いてみたいと思う。



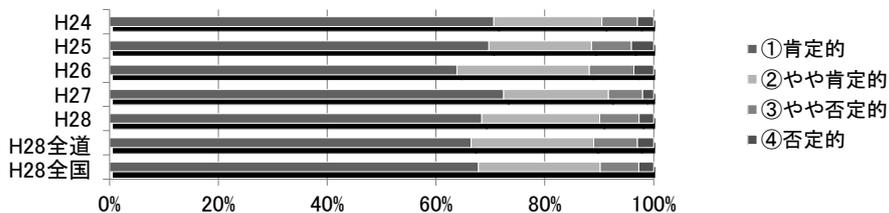
75 算数の問題の解き方がわからないときは、諦めずにいろいろな方法で考える。



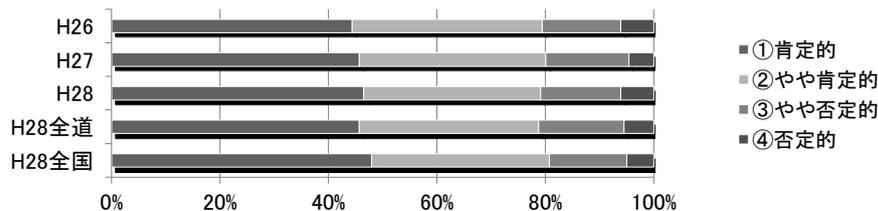
76 算数の授業で学習したことを普段の生活の中に活用できないか考える。



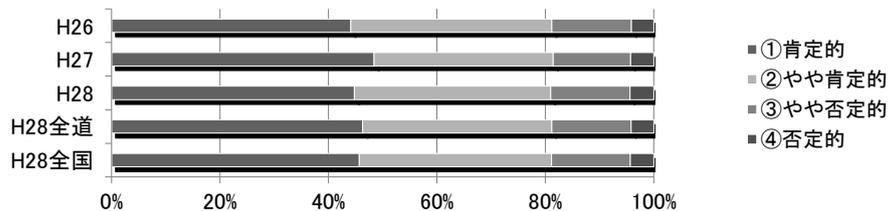
77 算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。



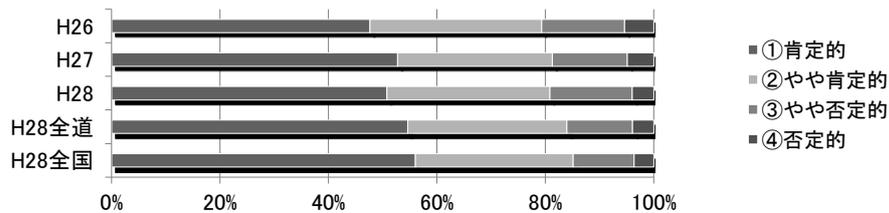
78 算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える。



79 算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている。

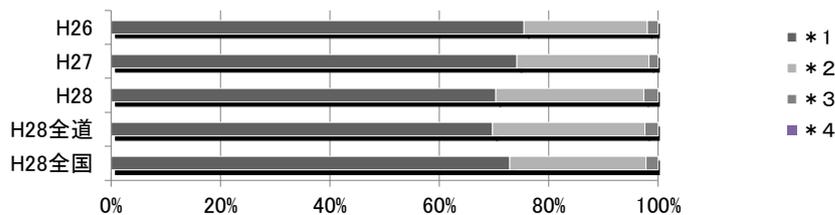


80 算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている。

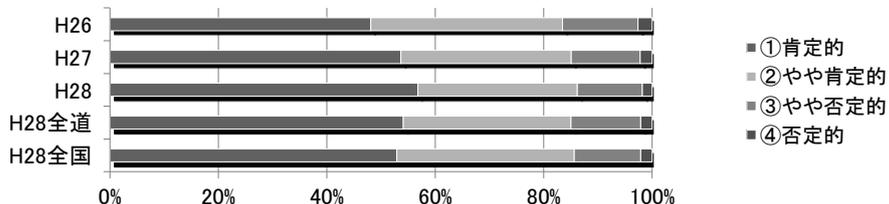


81 今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題でどのように回答したか。

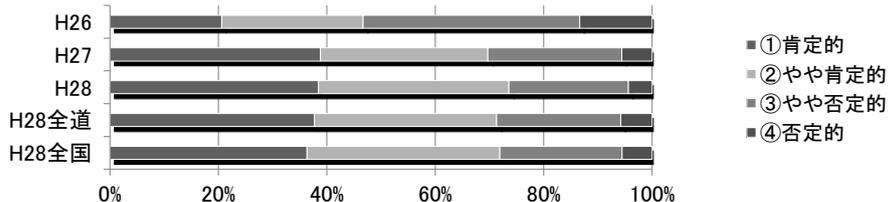
- * 1 : 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した。
- * 2 : 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めたりしたものがあった。
- * 3 : 書く問題は全く回答しなかった。 * 4 : その他



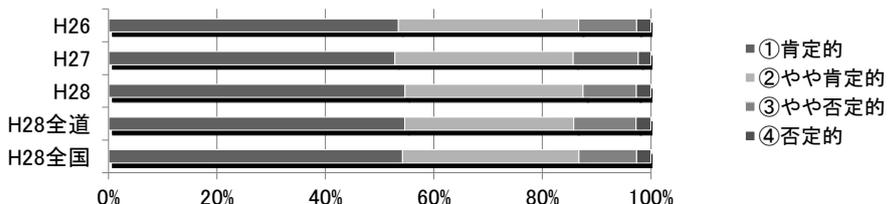
82 調査問題（国語A）の解答時間は十分だった。



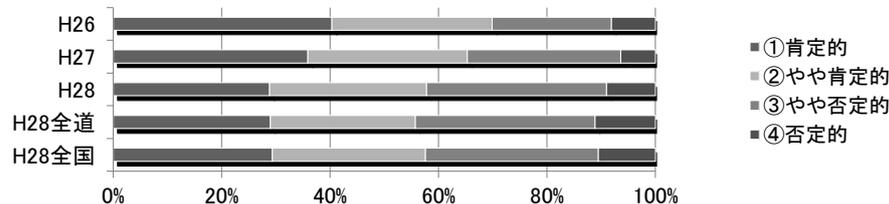
83 調査問題（国語B）の解答時間は十分だった。



84 調査問題（算数A）の解答時間は十分だった。



85 調査問題（算数B）の解答時間は十分だった。



平成28年度全国学力・学習状況調査生徒質問紙調査の結果と考察

苫小牧市教育委員会

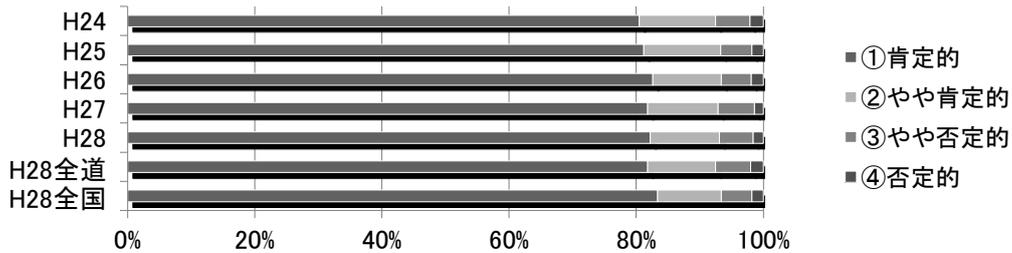
中学3年生徒

- ①：肯定的な回答（している・当てはまる・そう思う）
- ②：やや肯定的な回答（どちらかといえば、している・当てはまる・そう思う）
- ③：やや否定的な回答（あまりしていない、どちらかといえば、当てはまらない・そう思わない）
- ④：否定的な回答（まったくしていない・当てはまらない・そう思わない）

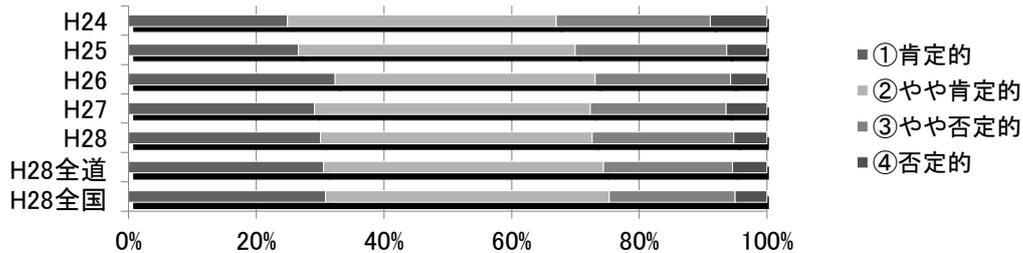
基本的な生活習慣

【考察】 基本的な生活習慣は、全国との比較や本市における5年間の推移から、改善の兆しが見えるが、「朝食を毎日食べている」「就寝」では全国平均を下回り、課題がみられる。
学校と家庭の連携強化による基本的な生活習慣の定着・改善が望まれる。

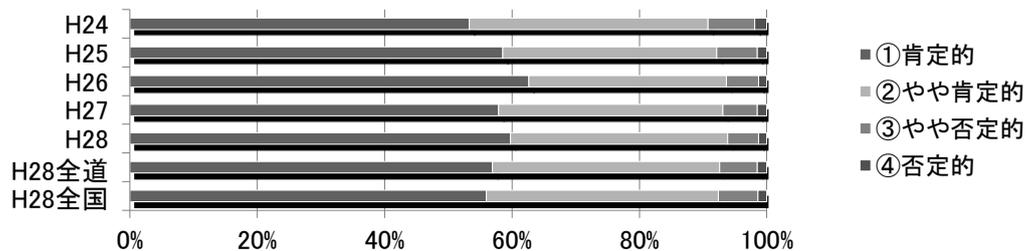
1 朝食を毎日食べている。



2 毎日、同じくらいの時刻に寝ている。



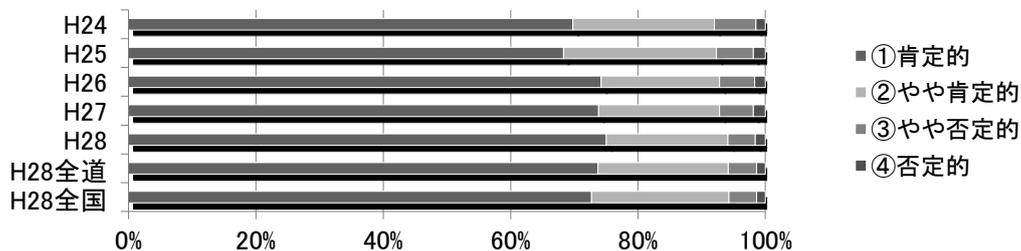
3 毎日、同じくらいの時刻に起きています。



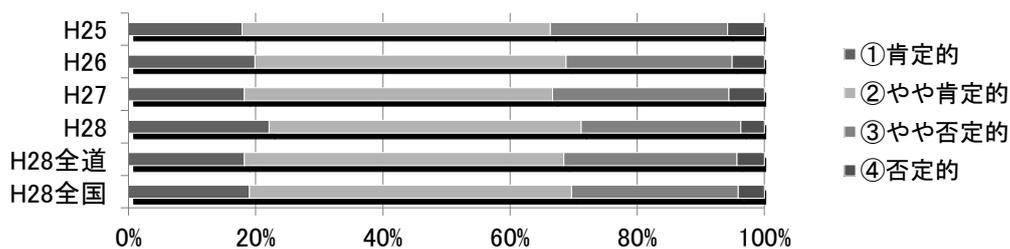
自己肯定感

【考察】 自己肯定感については、「自分には、よいところがあると思う」以外の項目で肯定的な回答が全国を上回っている。今後も、自己肯定感が高まるよう、成功体験を積み重ねる中から生徒のよさを価値付けていく指導を推進することが必要である。

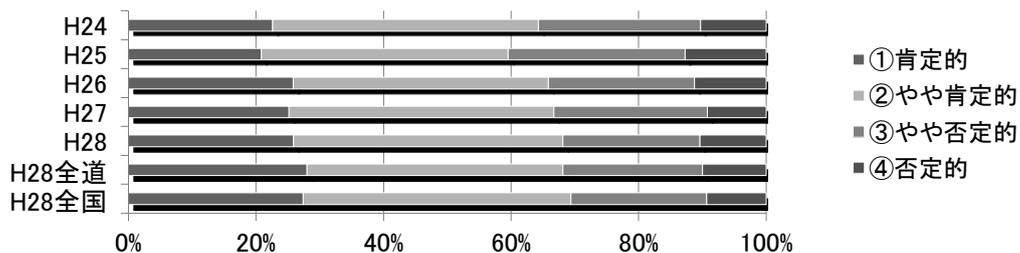
4 ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある。



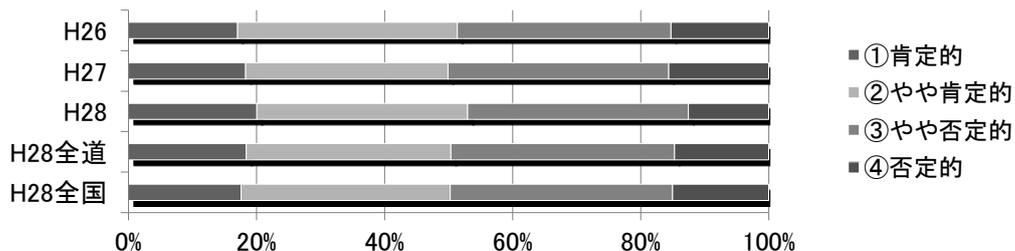
5 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している。



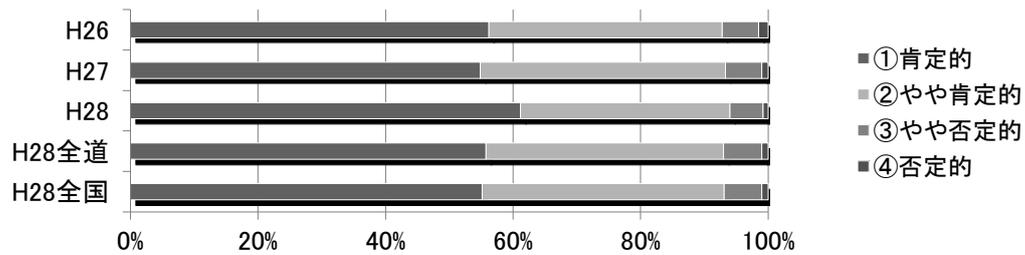
6 自分には、よいところがあると思う。



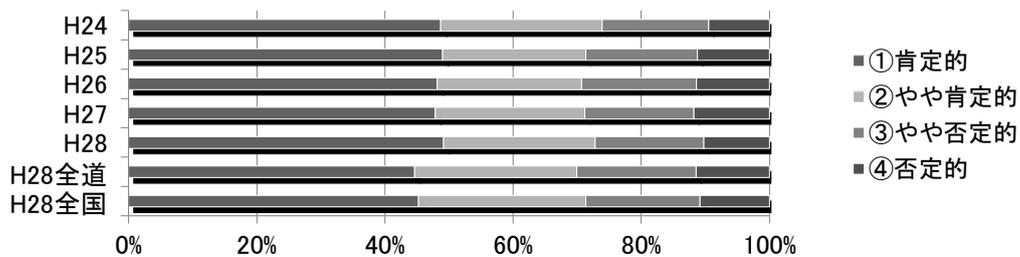
7 友だちの前で自分の考えや意見を発表することが得意である。



8 友だちと話し合うとき、友だちの話や意見を最後まで聞くことができる。



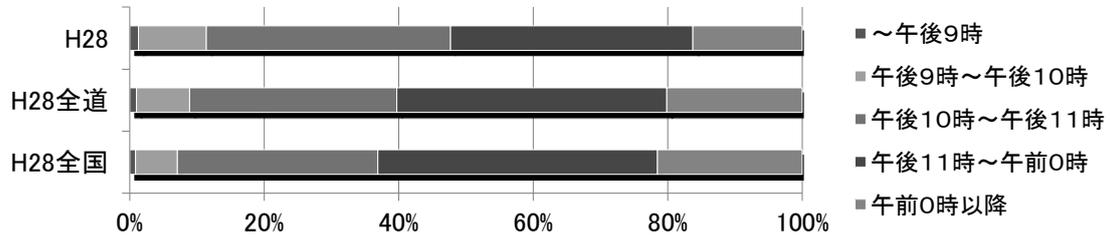
9 将来の夢や目標をもっている。



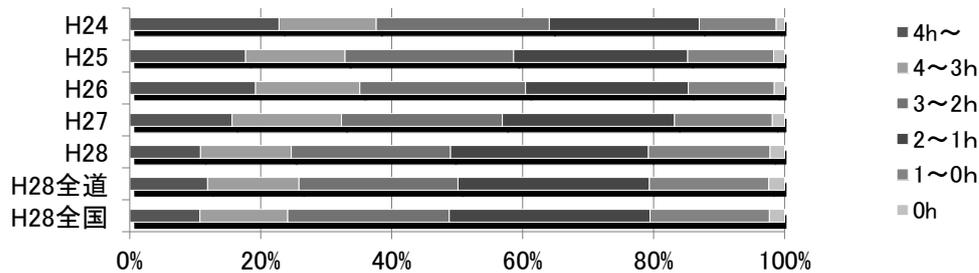
家庭生活(テレビ・ゲーム・インターネット)

【考察】 「テレビやビデオ・DVD」の視聴時間は全国と同等の割合だが、本市における「テレビゲーム」「通話やメール、インターネット」の利用時間については、全国を上回っている。学校と家庭が課題を共有し、とまこまい学びの3か条に沿った取組を進めていく必要がある。

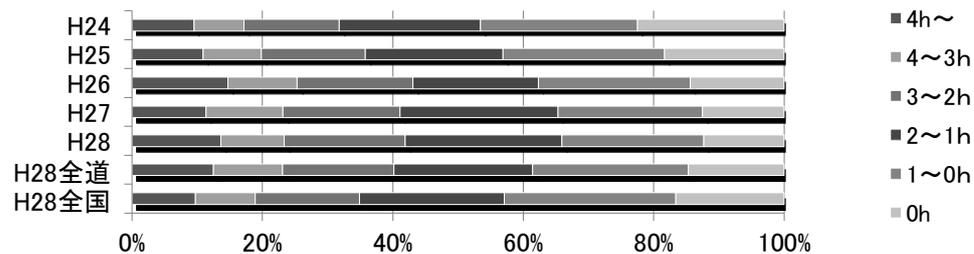
〈睡眠時間〉
10 普段(月～金)、睡眠時刻。(新設問)



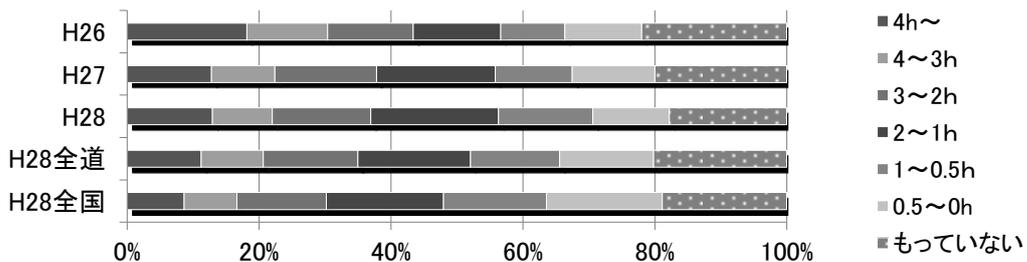
〈テレビ・ビデオ・DVD〉
11 普段(月～金)、一日あたりのテレビやビデオ・DVDの視聴時間。



〈テレビゲーム・インターネット〉
12 普段(月～金)、一日あたりのテレビゲームの利用時間。(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)



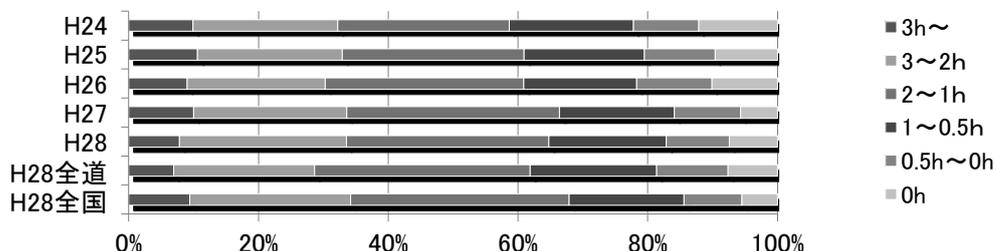
13 普段(月～金)、一日あたりの通話やメール、インターネットの利用時間。(ゲームを除く)



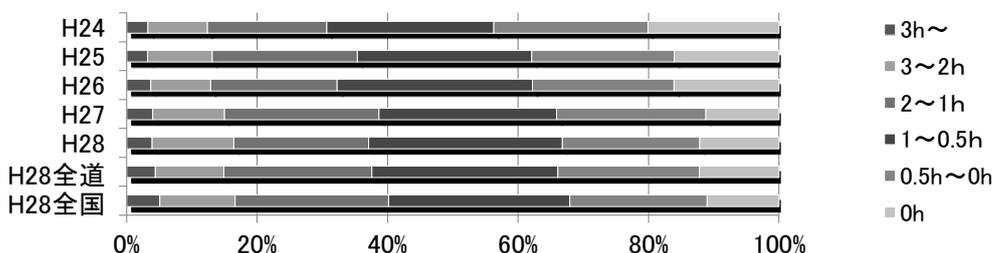
家庭生活(学習習慣・学習塾)

【考察】 経年比較から、授業の復習や宿題をする割合が増加している。しかし、市が掲げた目安の「100分」以上を示す2時間以上の割合は40%を下回っている。宿題や復習については全国平均を大きく上回っている。家庭学習の時間が目標に到達するよう、これまで以上に学校と家庭が連携していく必要がある。

14 普段(月～金)、学校の授業時間以外の日当たりの学習時間。



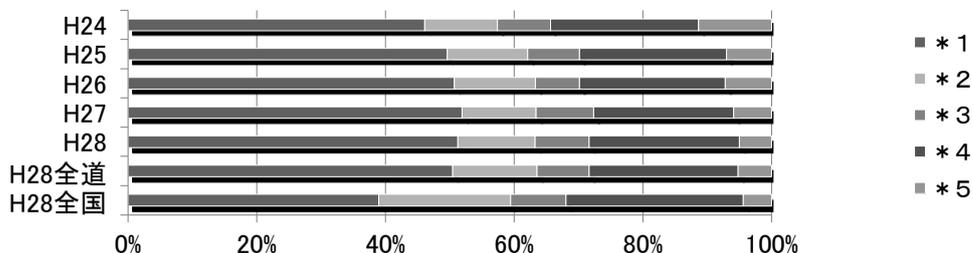
15 休日(土・日等)、一日当たりの学習時間。



〈学習塾〉

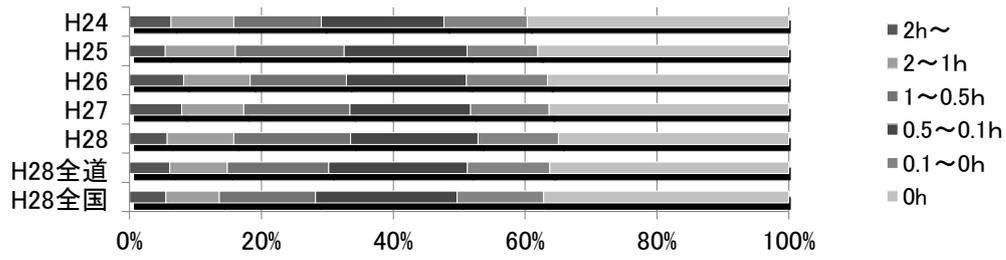
16 学習塾(家庭教師を含む)で勉強している生徒の割合

- * 1 : 学習塾に通っていない。 * 2 : 進んだ内容や難しい内容を勉強している。
- * 3 : よく分からなかった内容を勉強している。 * 4 : 2・3両方の内容を勉強している。
- * 5 : 2・3の内容どちらともいえない。

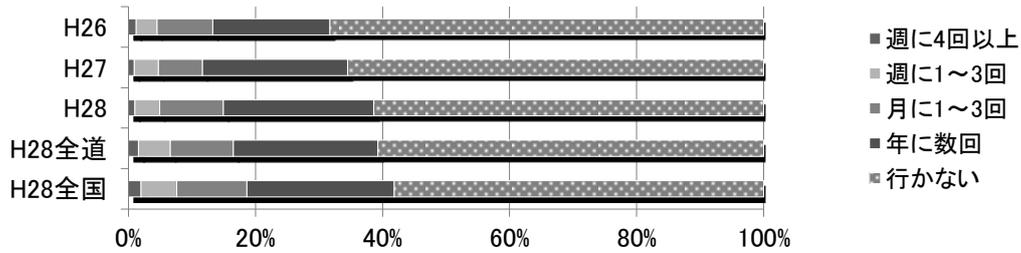


〈読書〉

17 普段(月～金)、家や図書館における一日あたりの読書時間。

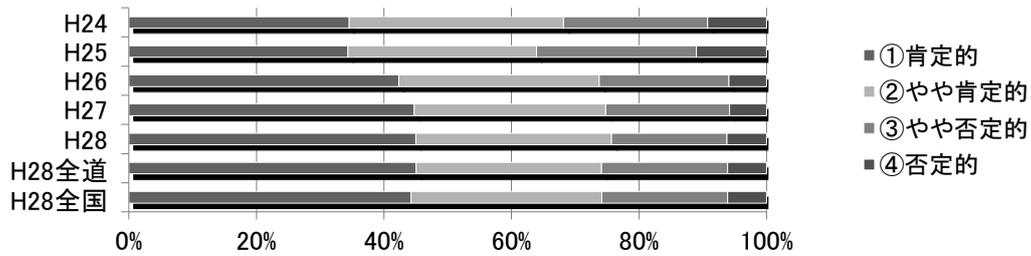


18 本を借りたり読んだりするために学校図書館を利用する割合。

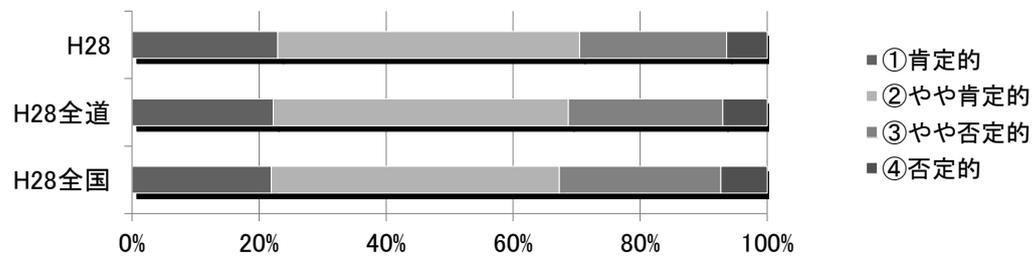


〈家の人に関して〉

19 家の人と学校での出来事について話をしている。

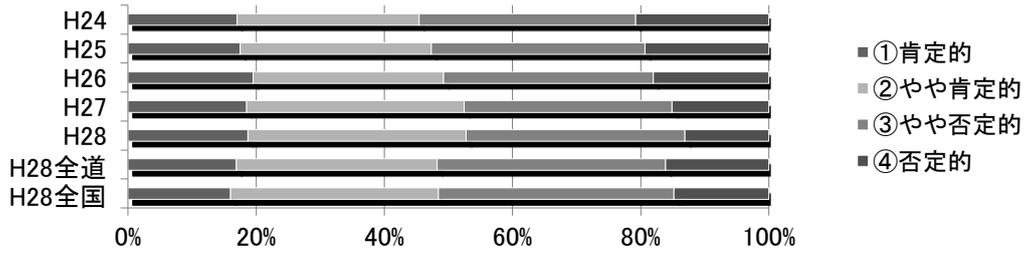


20 家の手伝いをしていますか。

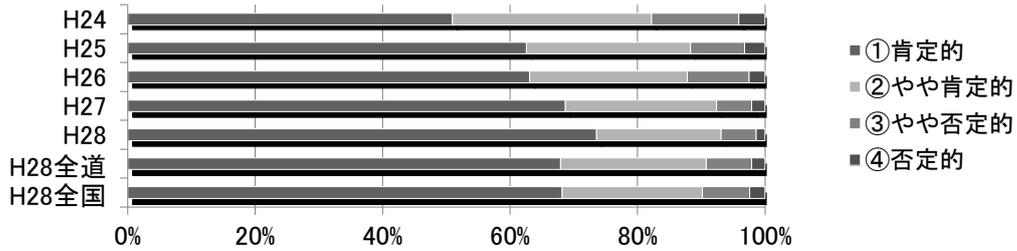


〈家庭学習〉

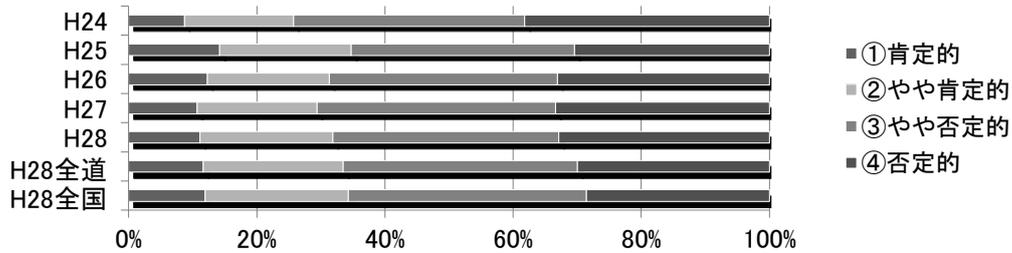
21 自分で計画を立てて勉強している。



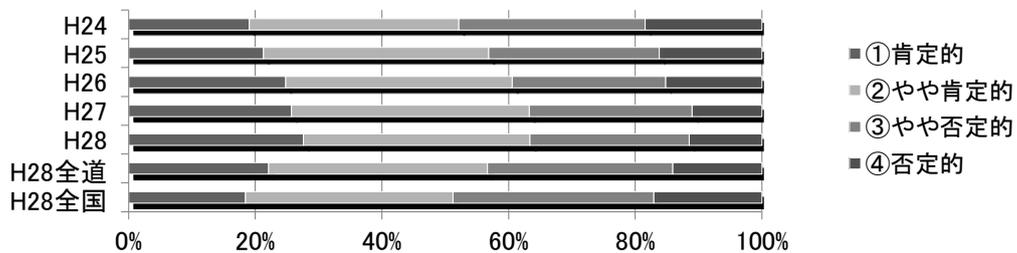
22 学校の宿題をしている。



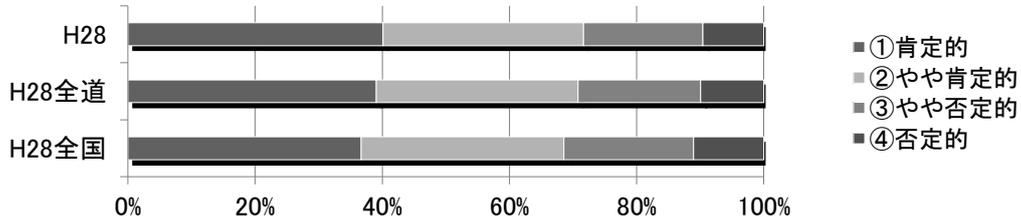
23 学校の授業の予習をしている。



24 学校の授業の復習をしている。



25 自学自習において、教科書を使いながら学習している。（新設問）

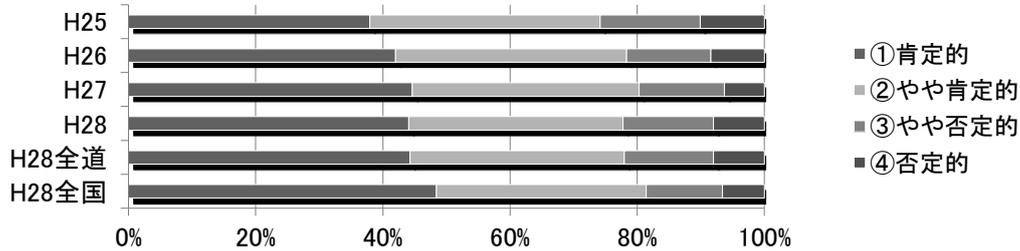


学校生活(態度・授業)

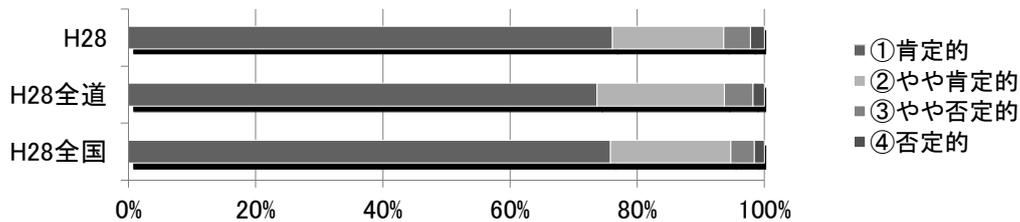
【考察】 学級活動を通して達成感や成就感を得られた生徒の割合は、昨年と比べて増加し、全国を上回っている。しかし、「学校に行くのが楽しい」と回答している割合は、全国と比較すると下回っている。日常の学校生活や授業を充実させていく必要がある。

〈学校生活〉

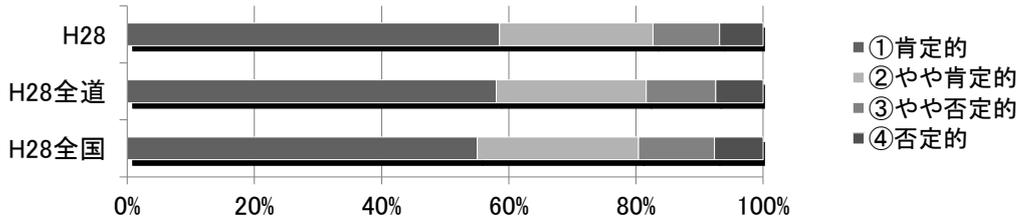
26 学校に行くのは楽しい。



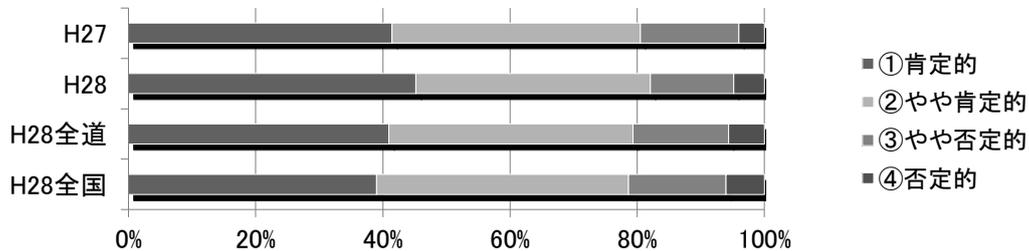
27 学校で、友達に会うのは楽しい。(新設問)



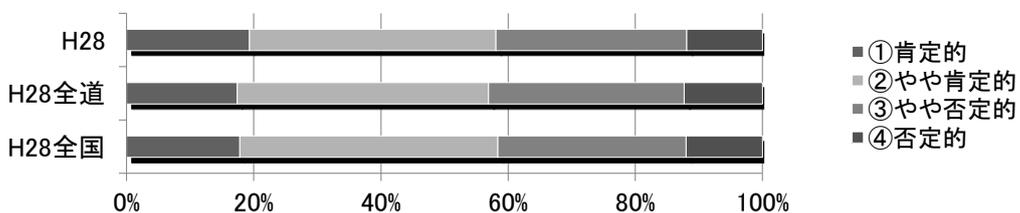
28 好きな授業がある。(新設問)



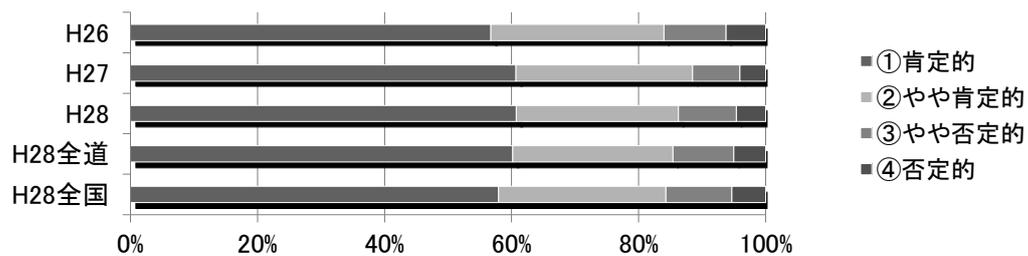
29 学級会などの時間に友達同士で話し合っって学級のきまりなどを決めている。



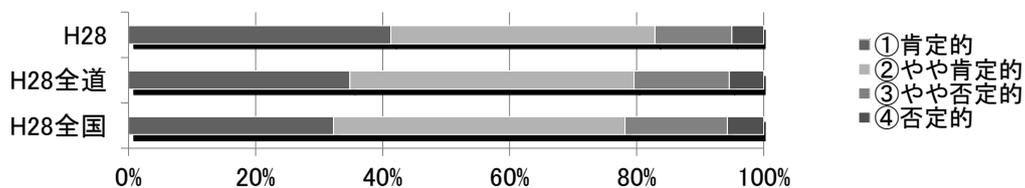
30 異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめている。(新設問)



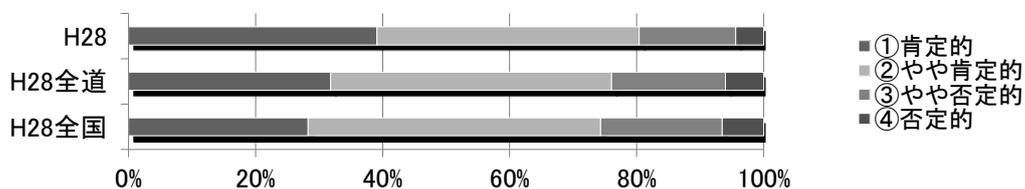
31 学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある。



32 先生はあなたのよいところを認めてくれている。(新設問)



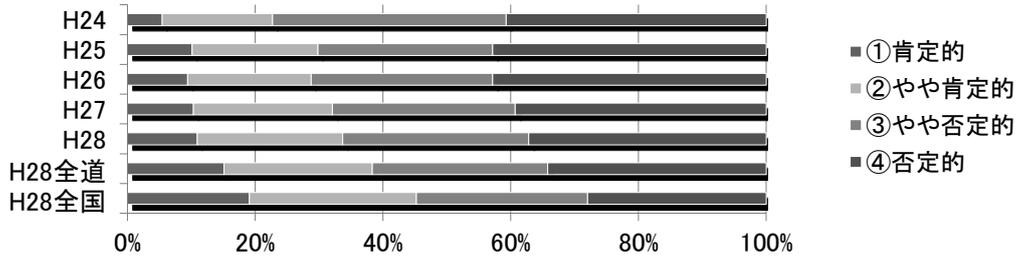
33 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる。(新設問)



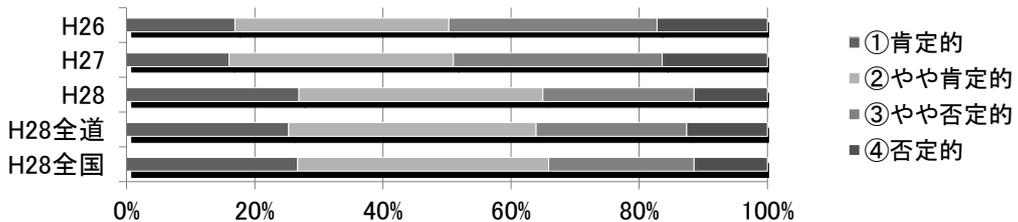
社会や地域への関心

【考察】 肯定的な回答の割合が、全国を下回っている項目が多いが、新聞を読んだり、地域や社会に関心がある項目は全国平均とほぼ同等である。学校の教育活動全体を通して、社会や地域に対して主体的に関わりをもつ資質や能力を育成する必要がある。

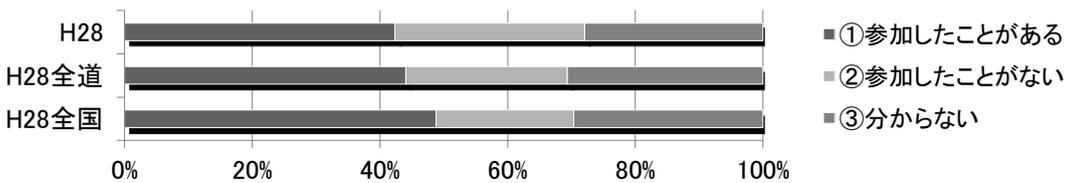
34 今住んでいる地域の行事に参加している。



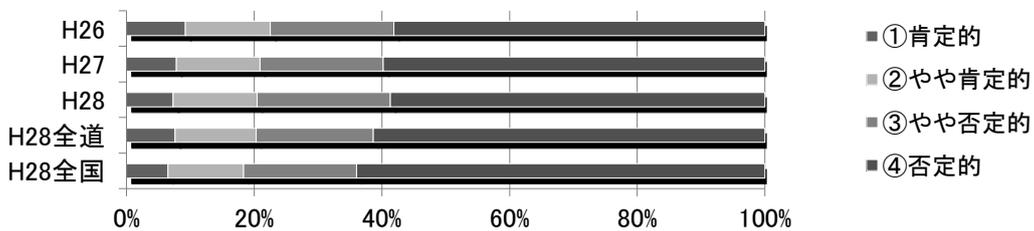
35 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある。



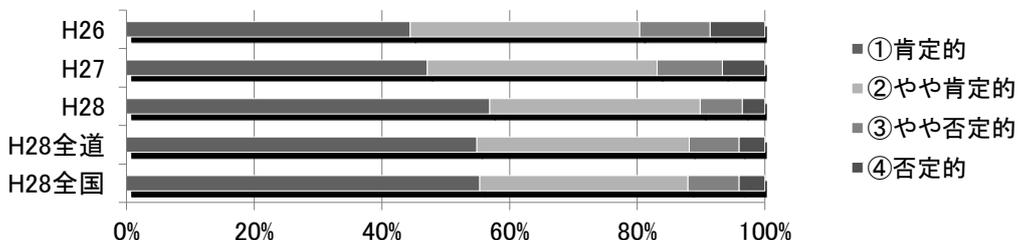
36 地域社会などでボランティア活動に参加したことがある。（新設問）



37 新聞を読んでいる。



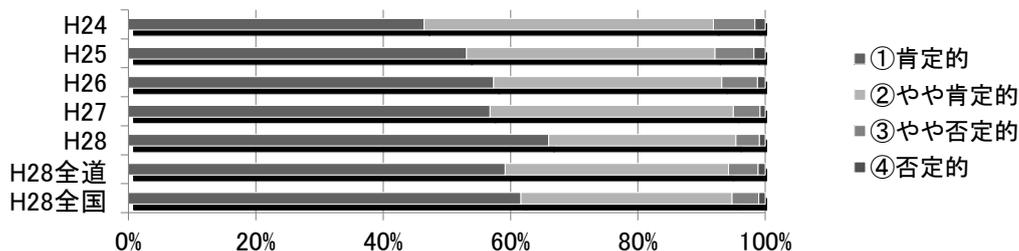
38 テレビやインターネットでニュースを見る。



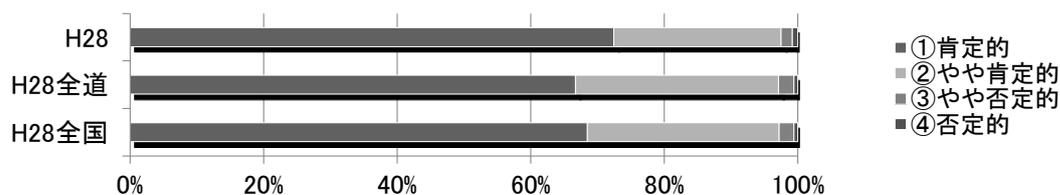
道徳的価値観(倫理観)

【考察】 規範意識は、経年比較で肯定的な回答の割合が増加して全国とほぼ同等の割合となっている。今後も引き続き、自己肯定感を高めていけるように道徳の時間を要とした道徳教育の充実が必要である。「人が困っている時は、進んで助けている。」といった実際の場面においても全国平均と同等な結果であった。

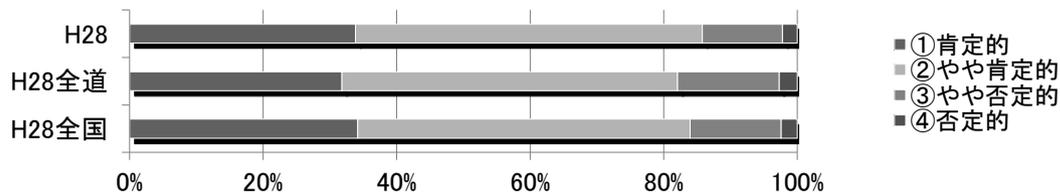
39 学校のきまりを守っている。



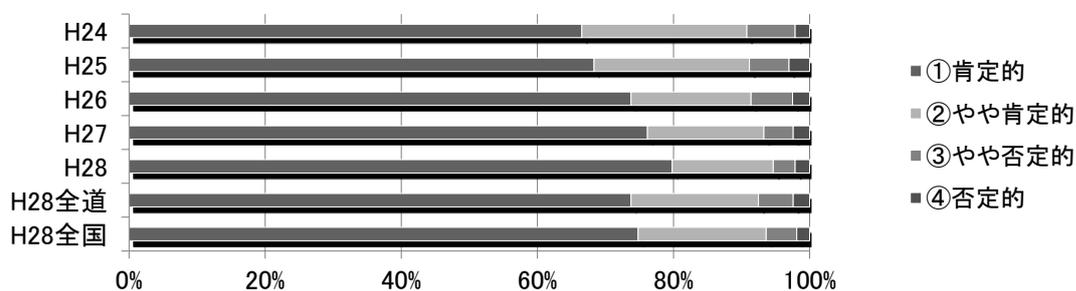
40 友達との約束を守っている。(新設問)



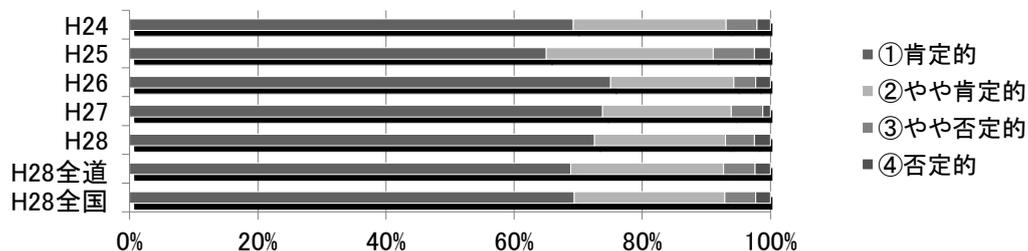
41 人が困っているときは、進んで助けている。(新設問)



42 いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う。



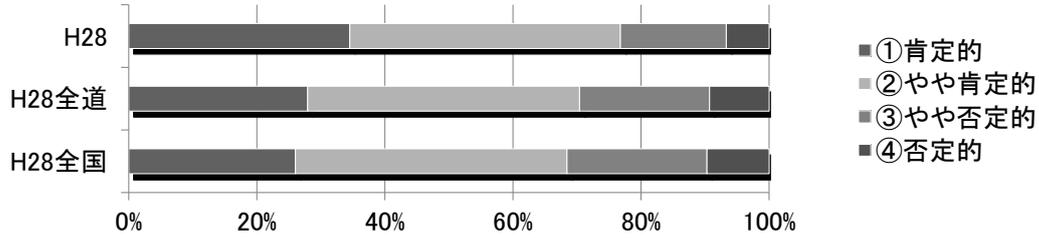
43 人の役に立つ人間になりたいと思う。



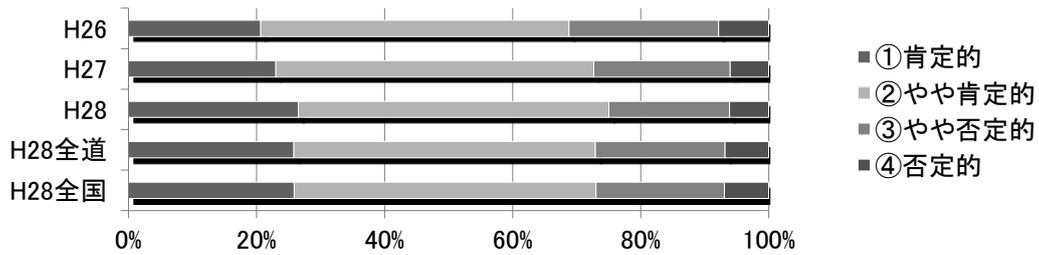
学習 (総合的な学習の時間)

【考察】 全ての項目で全国を上回っている。各教科等で身に付けた力を生かしながら、自ら課題を見付け、解決していく学習が、今後一層必要である。

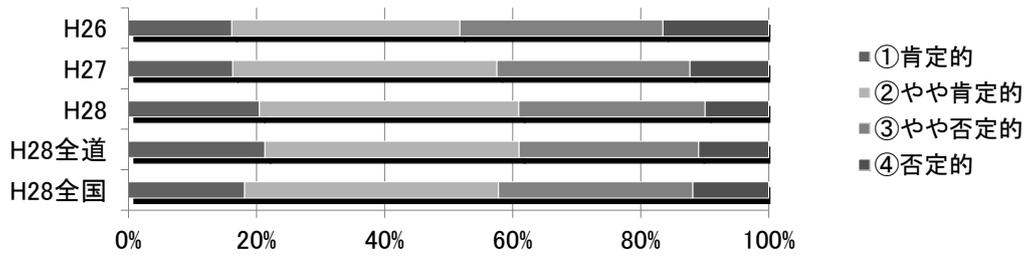
44 「総合的な学習の時間」の勉強は好きである。(新設問)



45 「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは普段の生活や社会で役に立つ。



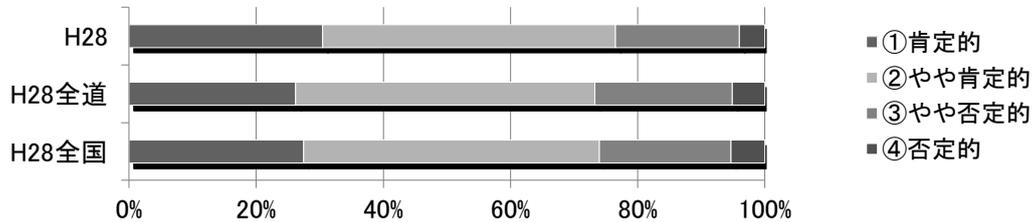
46 「総合的な学習の時間」に、自分で課題を立て、情報を整理して発表するなどをしている。



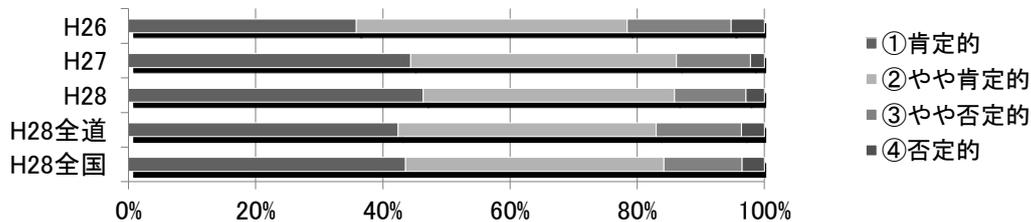
学習 (授業に関して)

【考察】 前年よりも肯定的な回答の割合が増加している。全ての全ての項目で全国を上回っている。特に、授業における「課題とまとめ」については、大幅に増加している。話し合う活動を通じて考えを深めたり広げたりすることについては全国をやや下回っているといった課題もあることから、生徒が主体的に学習に取り組めるよう、一層、授業改善を進める必要がある。

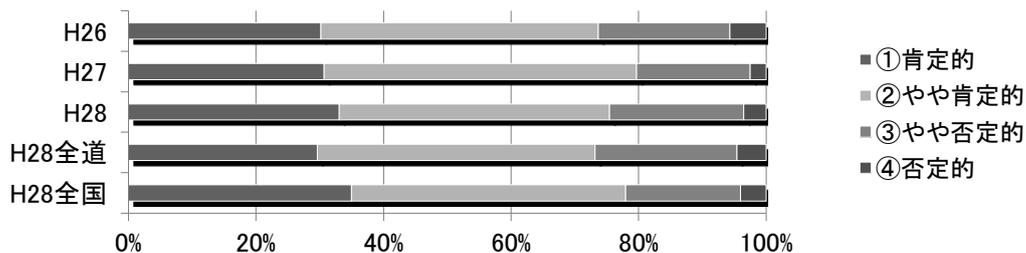
47 1、2年生までに受けた授業では、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいた。(新設問)



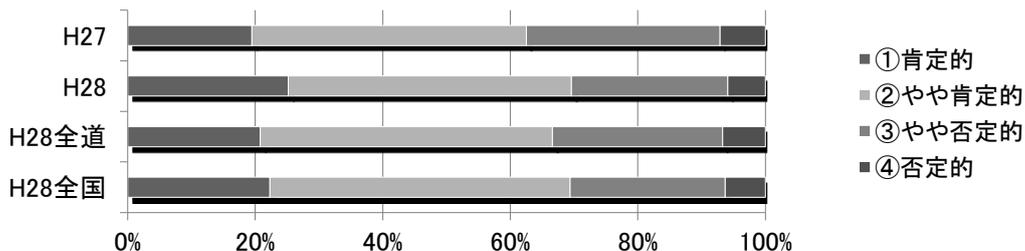
48 1、2年生の時に受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていた。



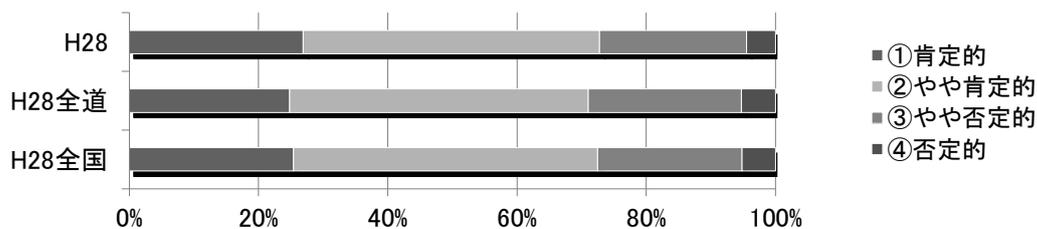
49 1、2年生の時に受けた授業では、学級の友だちと話し合う活動をよく行っていた。



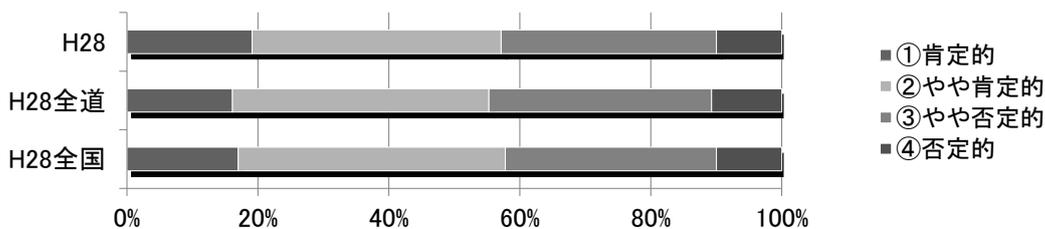
50 1、2年生の時に受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいた。



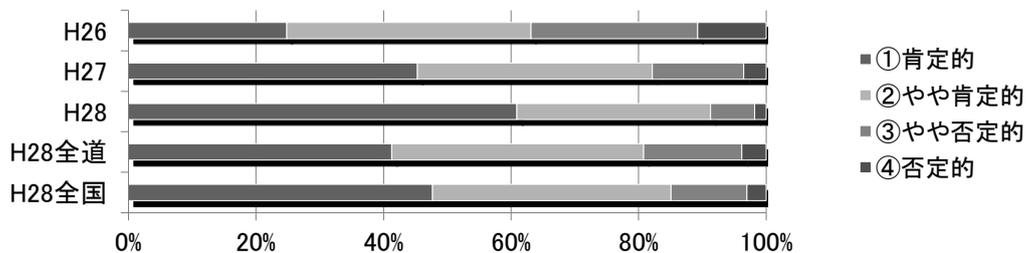
51 1、2年生までに受けた授業で、学級の友達との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていた。（新設問）



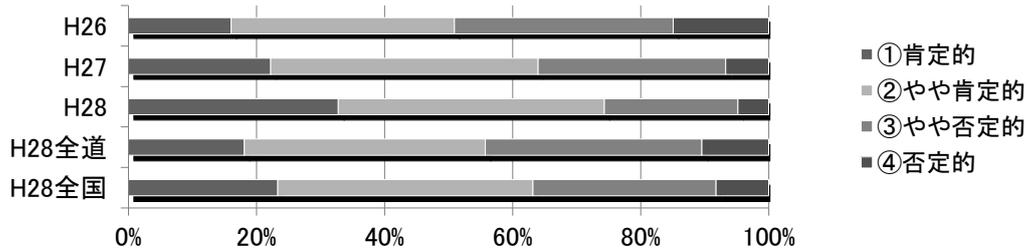
52 1、2年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していた。（新設問）



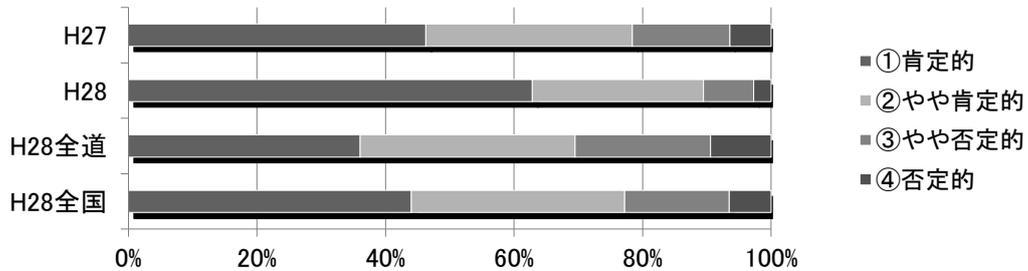
53 1、2年生の時に受けた授業のはじめには、目標（めあて・ねらい）が示されていた。



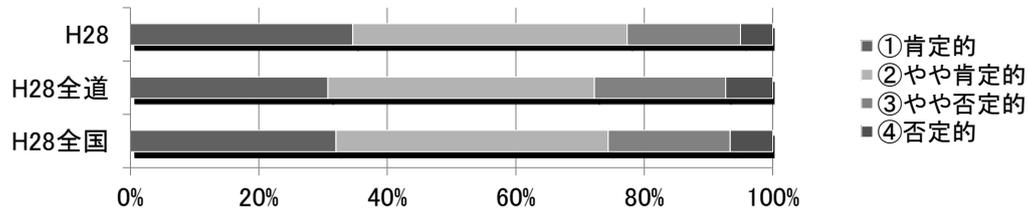
54 1、2年生の時に受けた授業の最後には、学習内容を振り返る活動を行っていた。



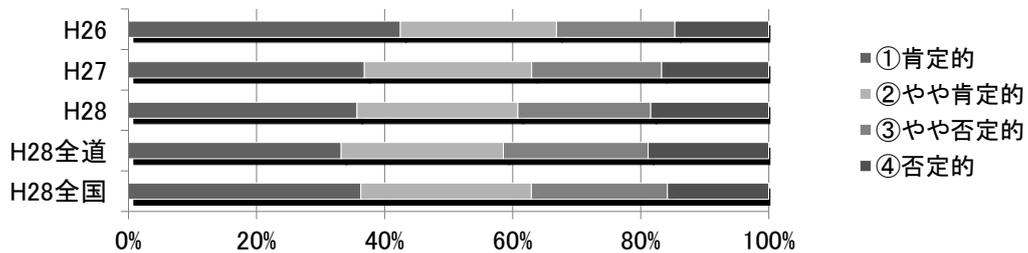
55 1、2年生の時に受けた授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていた。



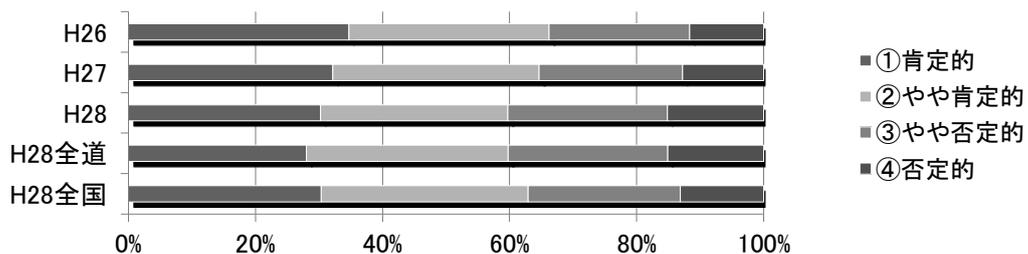
56 1、2年生までに受けた道徳の時間では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいた。（新設問）



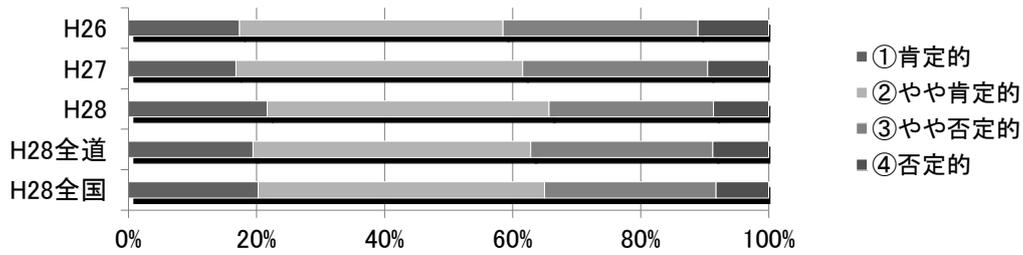
57 400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しい。



58 学校の授業などで、自分の考えを説明したり、文章に書いたりすることは難しい。

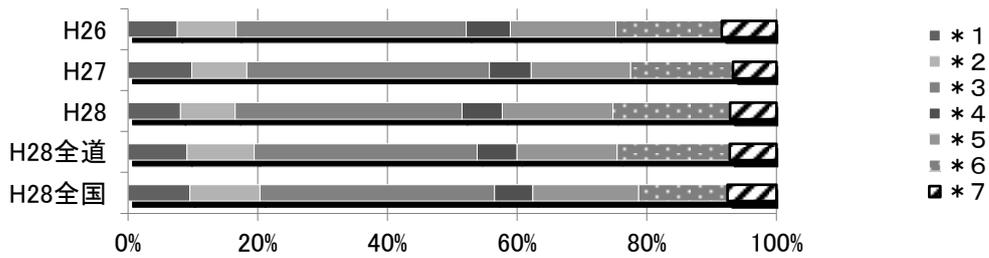


59 話し合う活動を通じて、考えを深めたり広げたりすることができている。



60 授業の中でわからないことがあった時

* 1 : その場で先生に尋ねる。 * 2 : 授業が終わってから先生に尋ねる。 * 3 : 友だちに尋ねる。
 * 4 : 家の人に尋ねる。 * 5 : 学習塾 (家庭教師も含む) に尋ねる。 * 6 : 自分で調べる。
 * 7 : そのままにしておく。

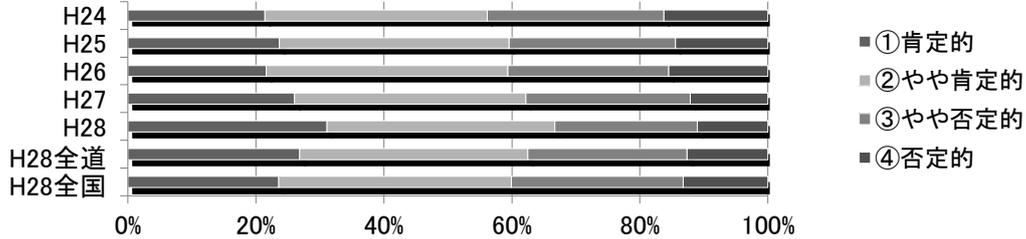


学習(国語科に関して)

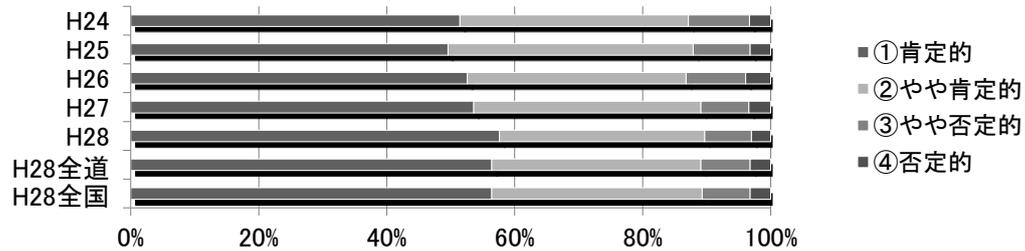
【考察】 全ての質問項目について、肯定的な回答の割合が増加している。特に、「国語が好き」「内容がよく分かる」「読書が好き」の項目では全国を大きく上回っている。今年も授業改善を進め、国語の学習が将来役に立つと実感できるようにする必要がある。

〈国語科〉

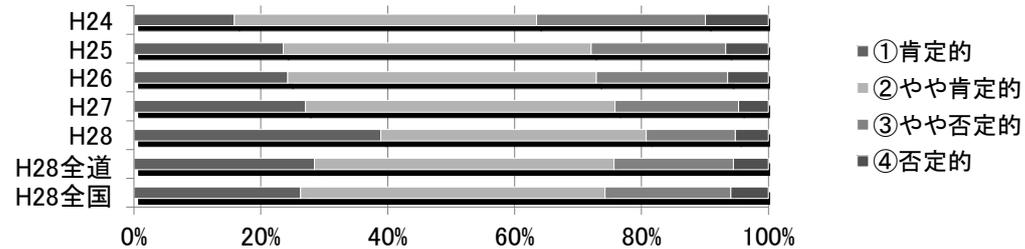
61 国語の勉強は好き。



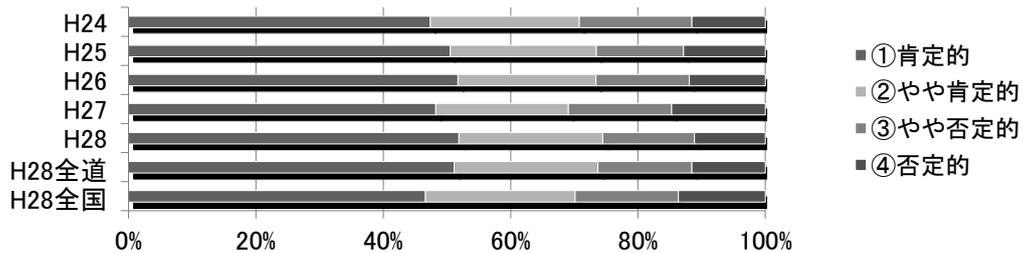
62 国語の勉強は大切だ。



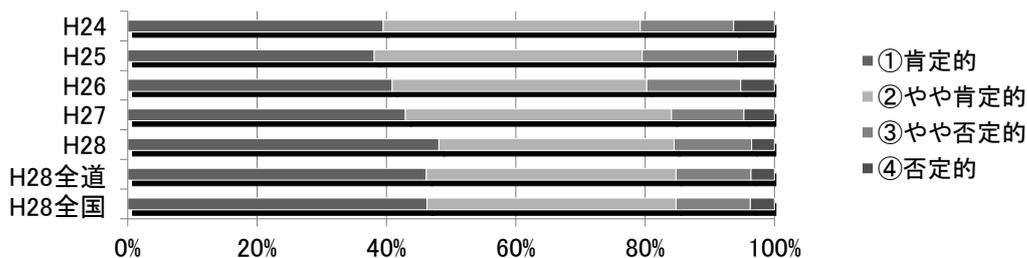
63 国語の授業の内容はよく分かる。



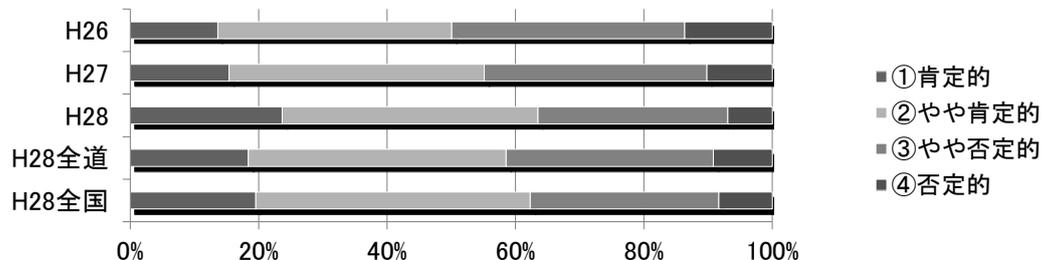
64 読書は好き。



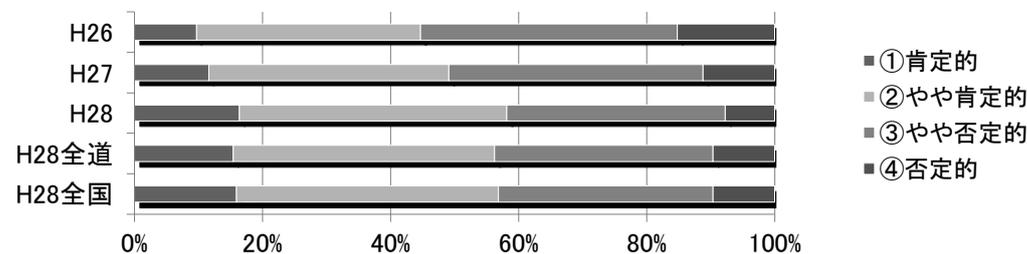
65 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。



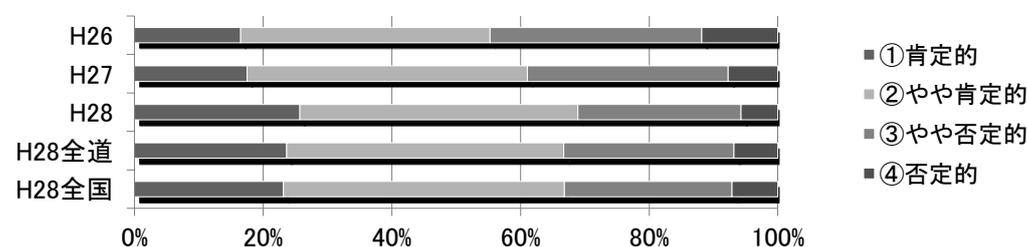
66 国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている。



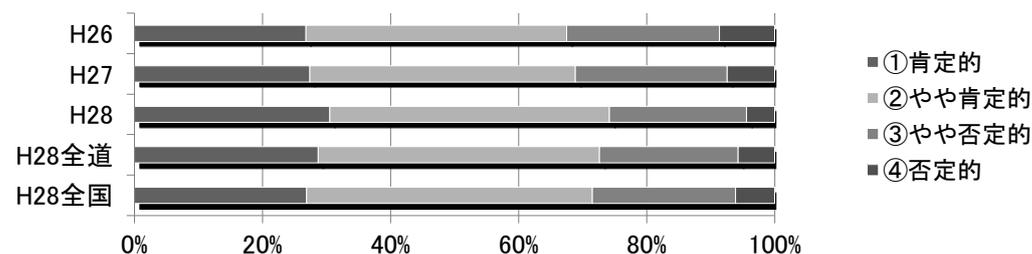
67 国語の授業で意見を発表するとき、うまく伝えるように話の組み立てを工夫している。



68 国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由がわかるように気をつけている。



69 国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめりごとに内容を理解しながら読んでいる。

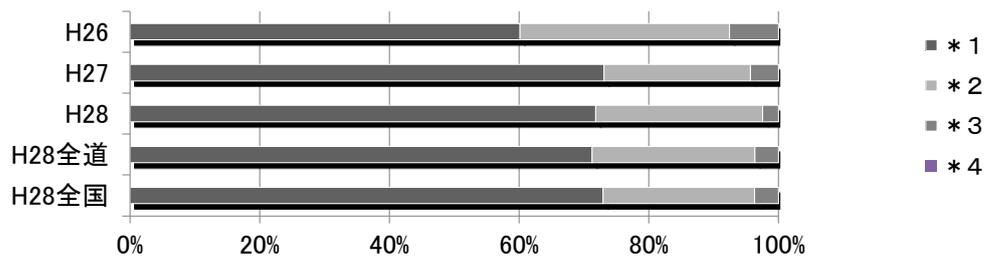


70 今回の国語の問題について、文章を書く問題でどのように回答したか。

* 1 : 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した。

* 2 : 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めたりしたものがあつた。

* 3 : 書く問題は全く回答しなかった。 * 4 : その他

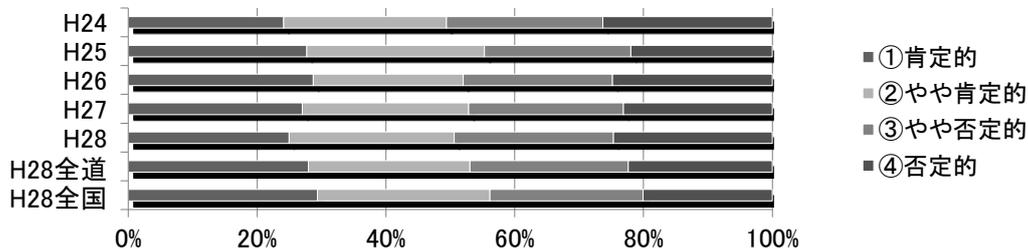


学習 (数学科に関して)

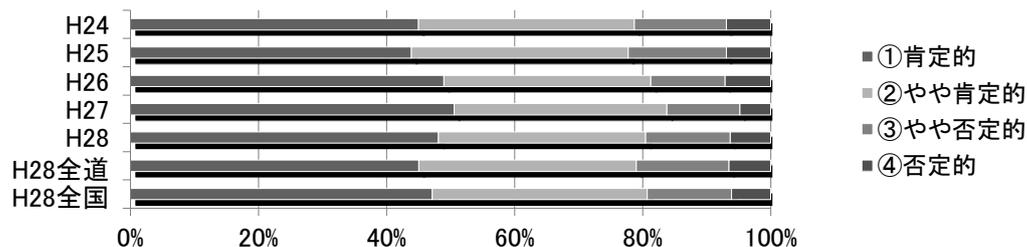
【考察】 「数学の勉強は好き」という項目については肯定的な質問が全国平均よりも低くなっているが、他の質問項目において、肯定的な回答の割合が多い。今後も継続して、授業改善を進める。

〈数学科〉

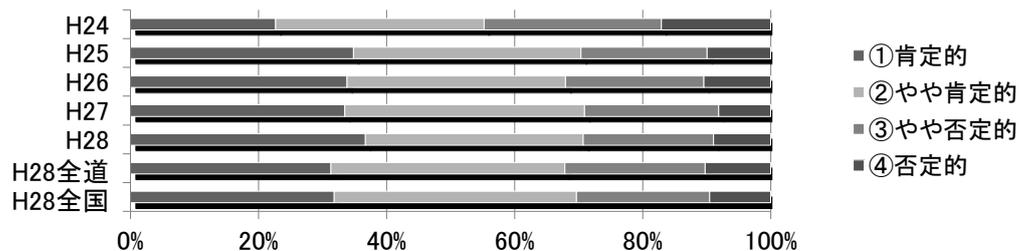
71 数学の勉強は好き。



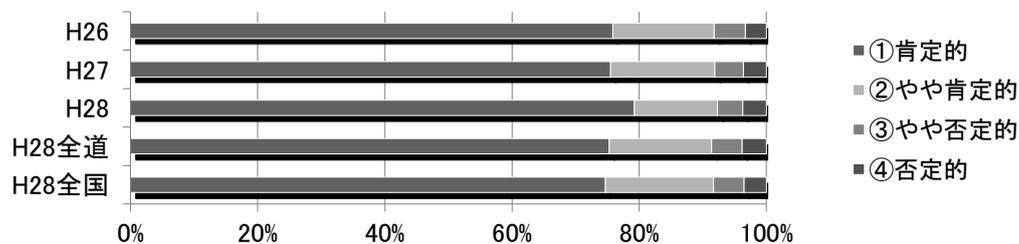
72 数学の勉強は大切だ。



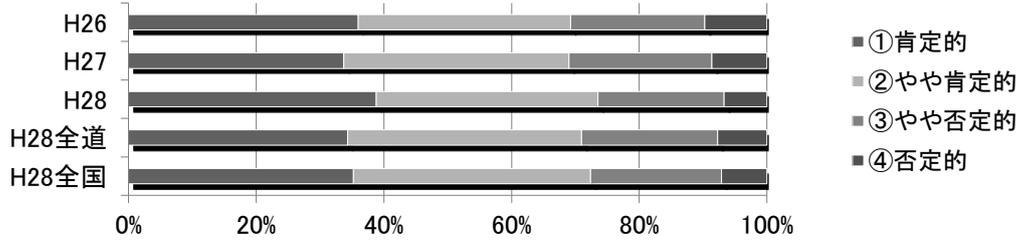
73 数学の授業の内容はよく分かる。



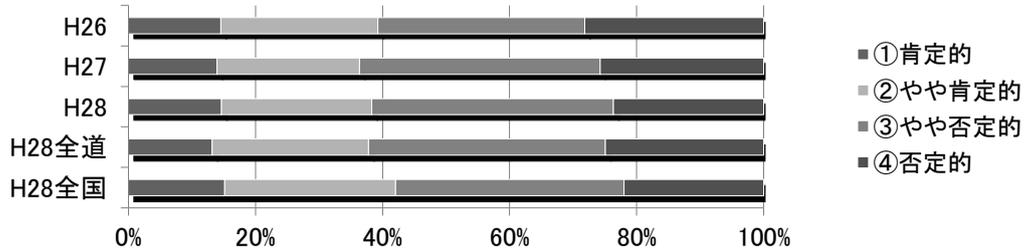
74 数学ができるようになりたい。



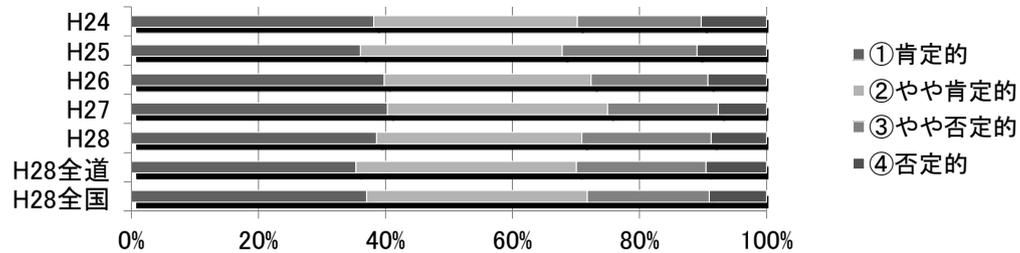
75 数学の問題の解き方がわからないときは、諦めずにいろいろな方法で考える。



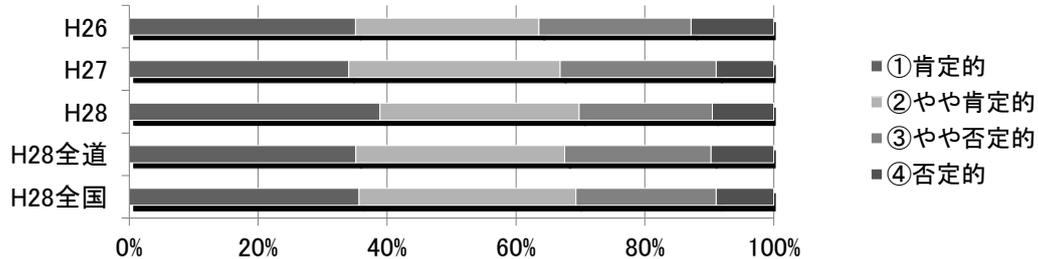
76 数学の授業で学習したことを普段の生活の中に活用できないか考える。



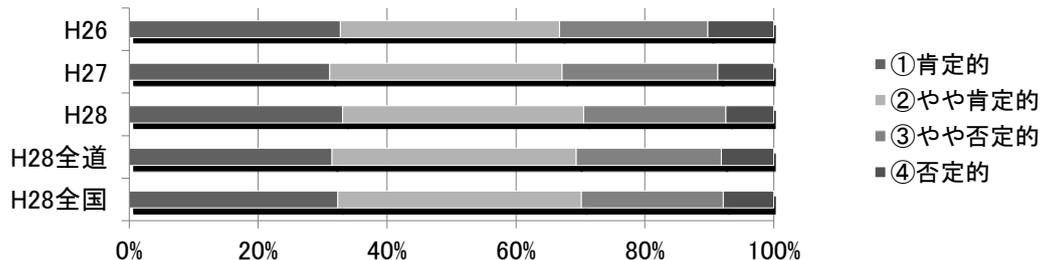
77 数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。



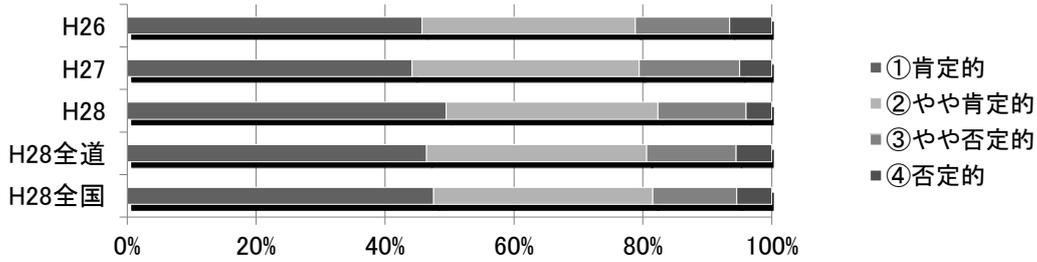
78 数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える。



79 数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている。

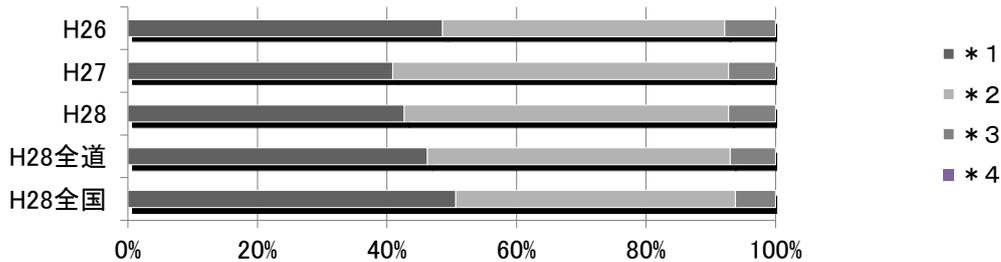


80 数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている。

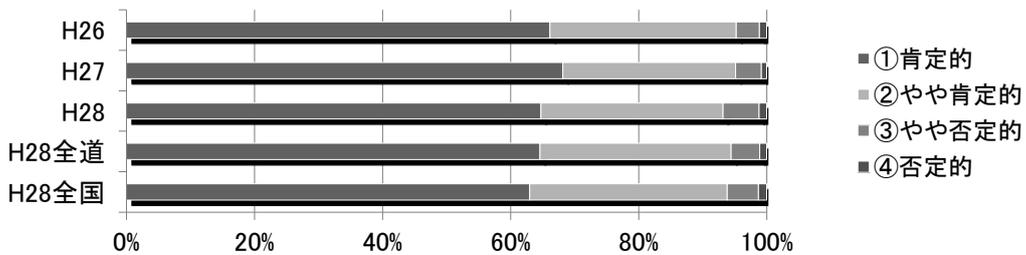


81 今回の数学の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題でどのように回答したか。

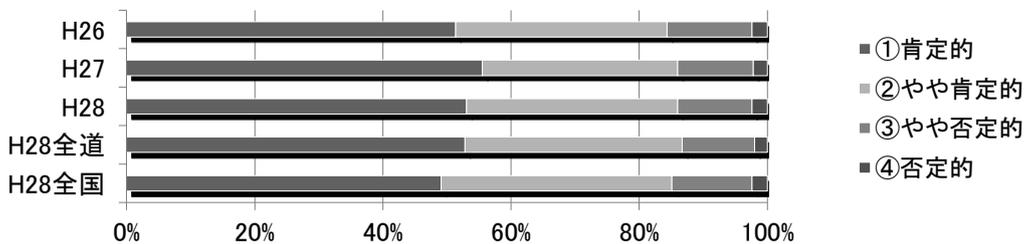
- * 1 : 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した。
- * 2 : 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めたりしたものがあった。
- * 3 : 書く問題は全く回答しなかった。 * 4 : その他



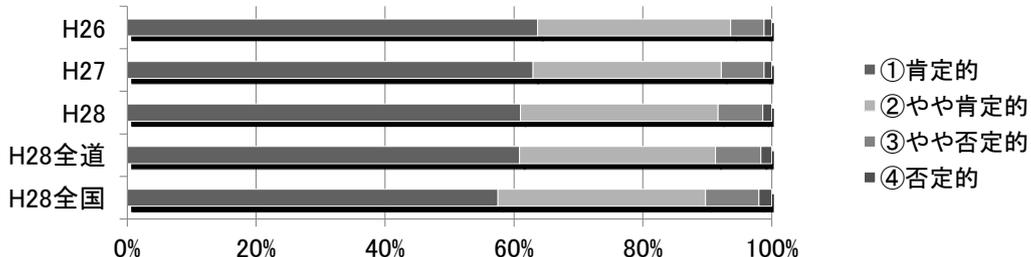
82 調査問題（国語A）の解答時間は十分だった。



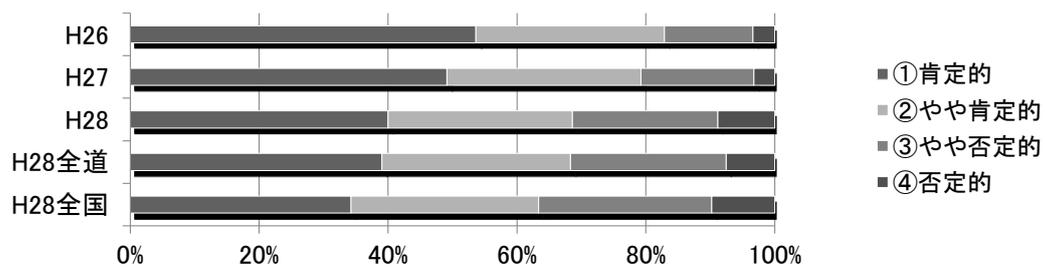
83 調査問題（国語B）の解答時間は十分だった。



84 調査問題（数学A）の解答時間は十分だった。



85 調査問題（数学B）の解答時間は十分だった。



平成28年度全国学力・学習状況調査学校質問紙調査の結果と考察

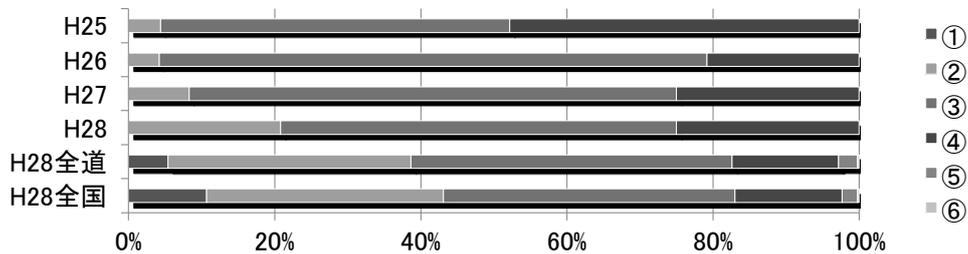
苫小牧市教育委員会

学力向上に向けた取組

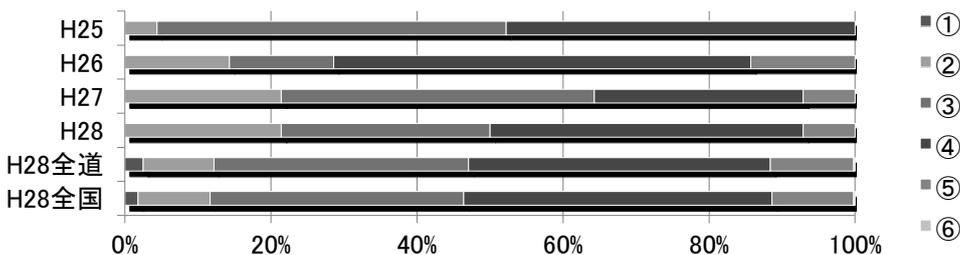
◆学校図書館を活用した授業を行った。

- ①週に1回程度、またはそれ以上行った ②月に数回程度行った ③学期に数回程度行った
④年に数回程度行った ⑤行っていない ⑥その他、無回答

【小学校】



【中学校】



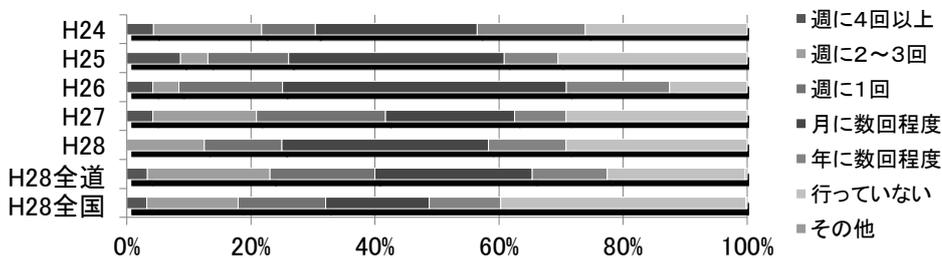
【考察】

学校図書館を利用した授業は、年々増加傾向にあるが、全国平均に比べると大きな差が出ている。特に、中学校での取組が進んでおり、「月に数回程度」であるならば約半数の中学校で行われている。国語だけでなく、他教科での活用も取り入れる必要がある。

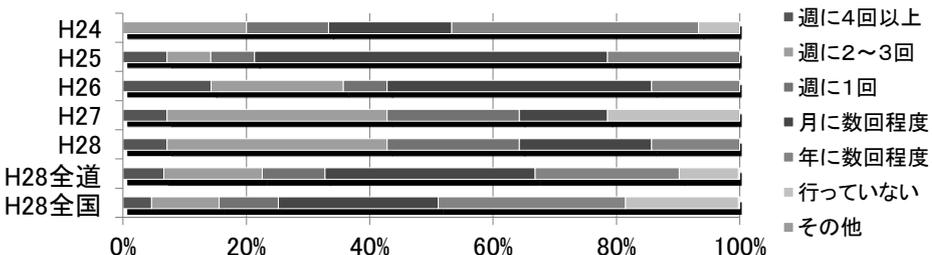
〈補充学習〉

◆放課後を利用した補充的な学習サポートを実施した。

【小学校】

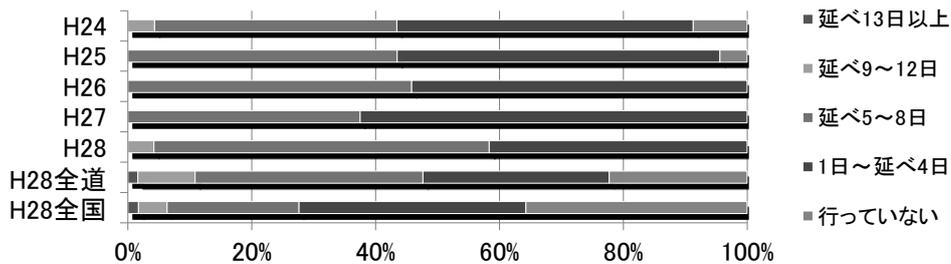


【中学校】

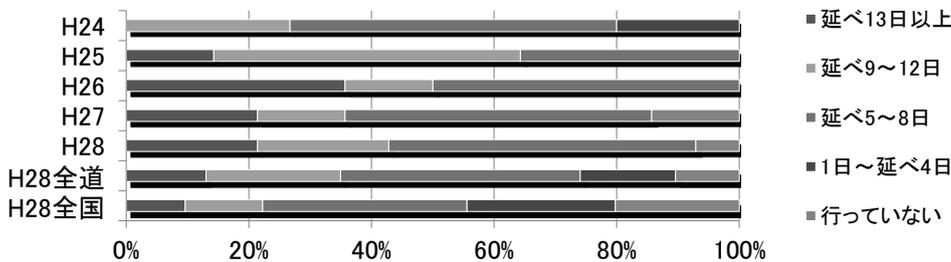


◆長期休業期間を利用した補足的な学習サポートを実施した。

【小学校】



【中学校】



【考察】

放課後を利用した補足的な学習サポートは計画的に行われており、小・中学校ともに全国・全道以上の取組が行われている。長期休業期間を利用した補足的な学習サポートは、定着してきている。退職校長や学生ボランティアなど地域の人材活用なども取り入れている。

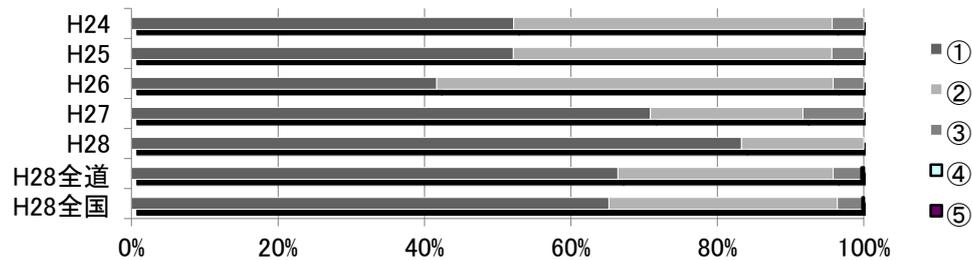
（授業）

- ①よく行った ②どちらかといえば、行った
③あまり行っていない ④まったく行っていない ⑤その他

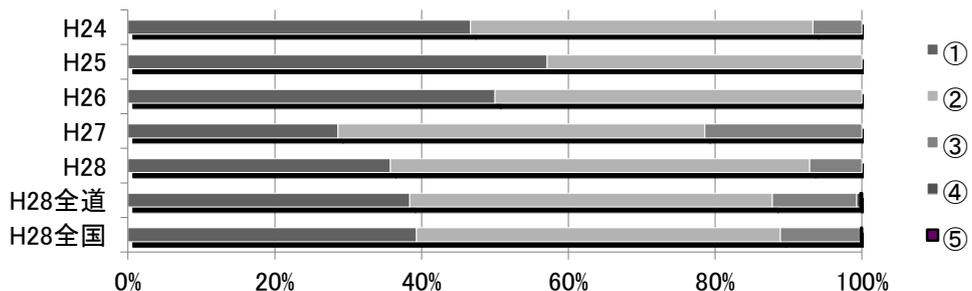
◆授業で扱うノートに、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書くように指導した。

〔H26までの設問〕学習方法（適切にノートをとる、テストの間違いを振り返って学習するなど）に関する指導をした。

【小学校】

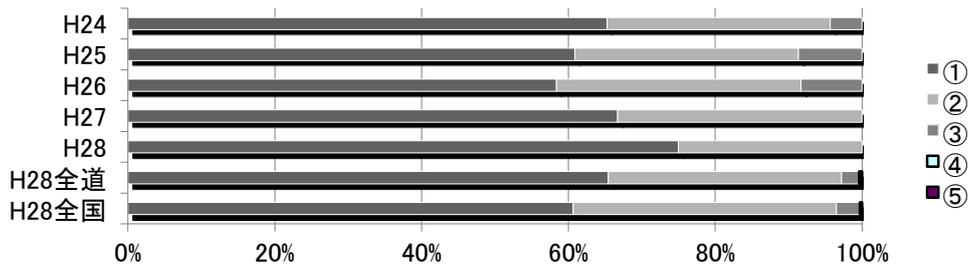


【中学校】

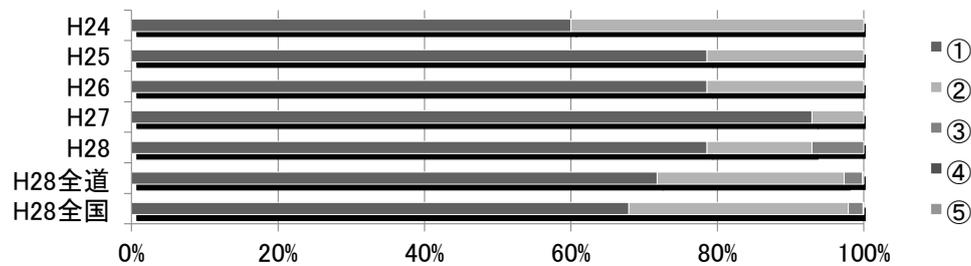


◆学習規律（私語をしない、話をする人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど）の維持を徹底した。

【小学校】



【中学校】



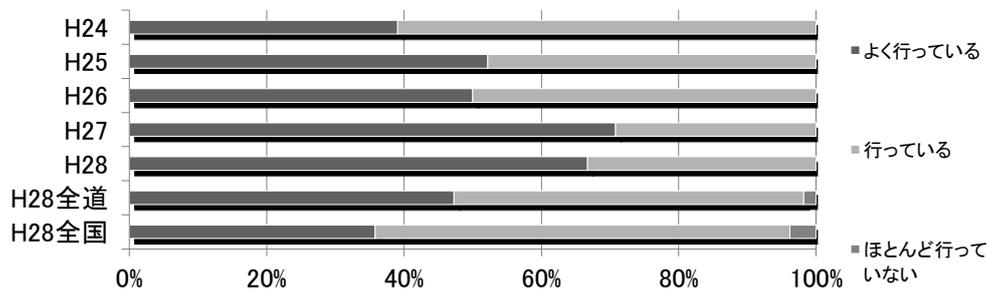
【考察】

小学校・中学校においては、ノート指導が進んでいる。このことは、児童生徒質問紙の回答結果の割合とほぼ一致しており、授業改善が進展していることがわかる。しかし、中学校については、まだ、全国を下回っていることから、小・中学校が連携して取組を進める必要がある。学習規律は、小・中学校ともに徹底されている。中学校では、ほとんどの学校で徹底を強化している状況がうかがわれる。

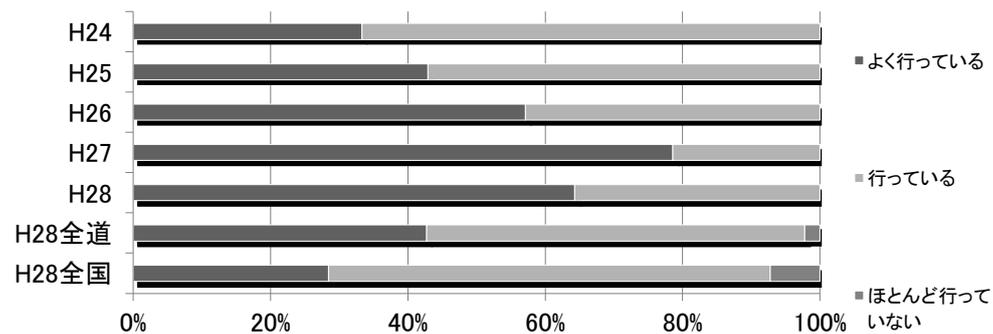
〈全国学力・学習状況調査や地方公共団体における独自の調査等の結果の活用〉

◆調査等の結果を利用し、具体的な教育指導の改善を行った。

【小学校】

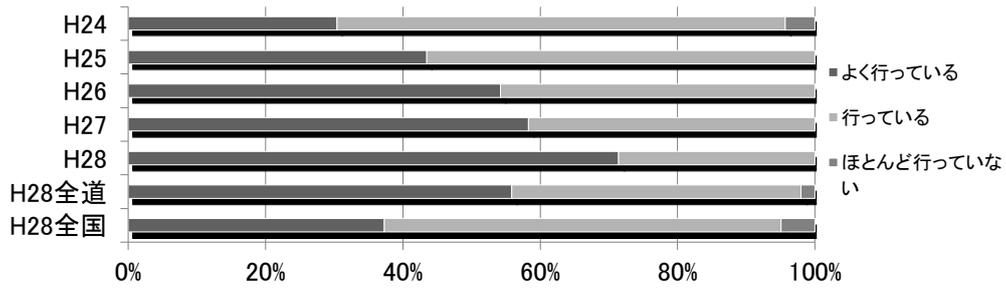


【中学校】

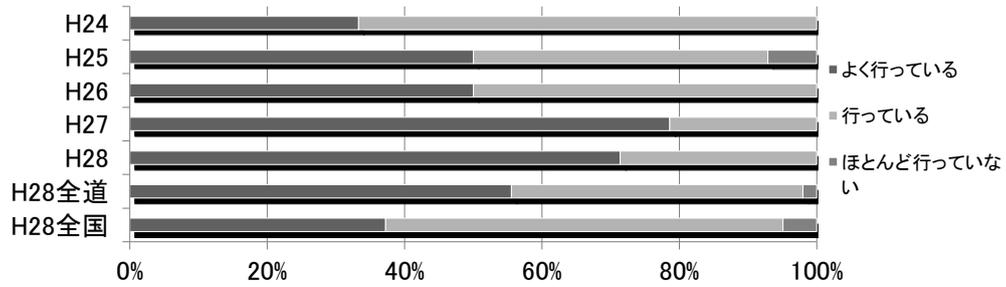


◆調査等の結果を学校全体で教育活動を改善するために活用した。

【小学校】



【中学校】



【考察】

全国学力・学習状況調査や独自調査を、学力向上や教育活動の改善に活用する取組が一層進んでいる。

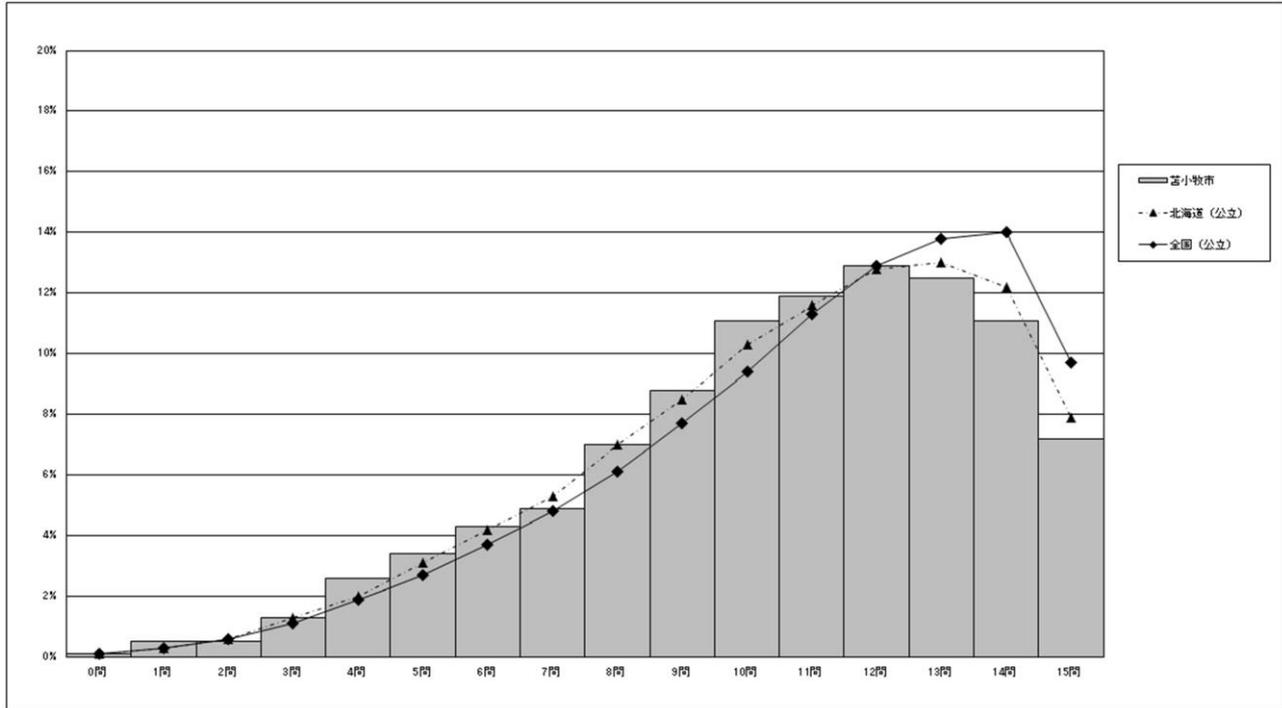
平成28年度全国学力・学習状況調査

小学校調査

調査結果概要 [国語A：主として知識]

苫小牧市教育委員会—児童

正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）



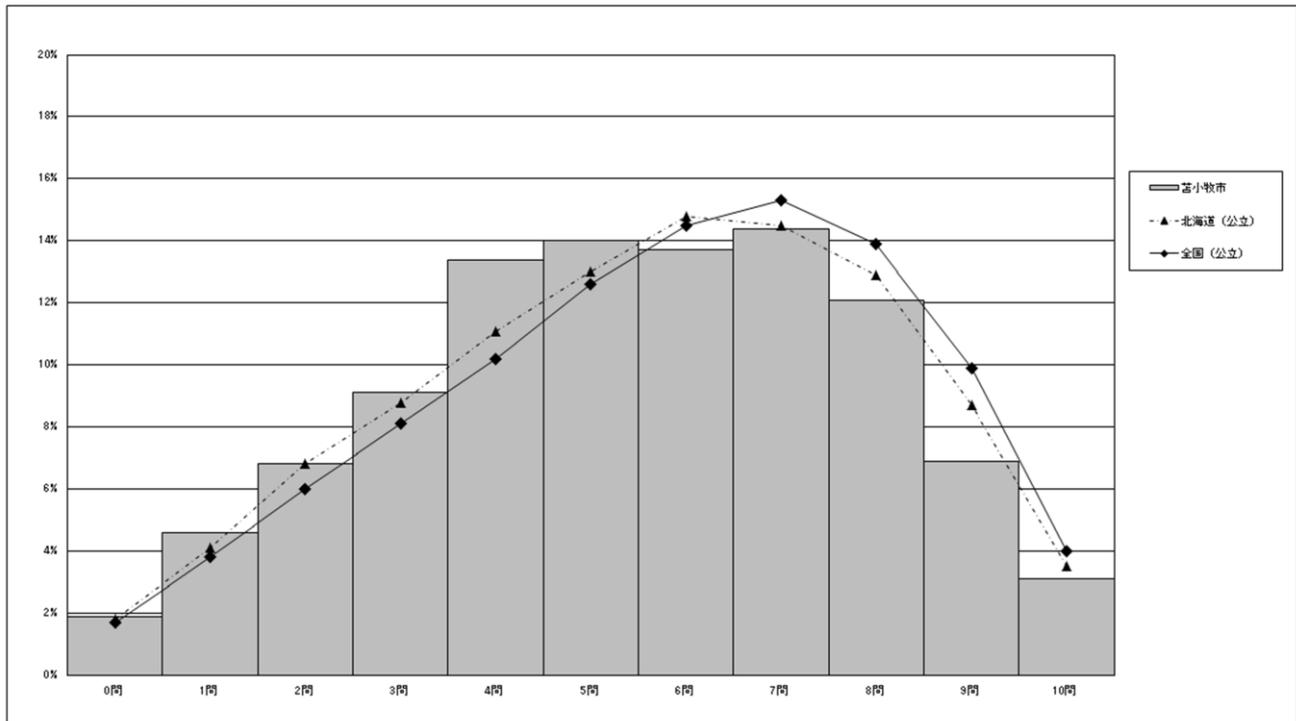
平成28年度全国学力・学習状況調査

小学校調査

調査結果概要 [国語B：主として活用]

苫小牧市教育委員会—児童

正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）



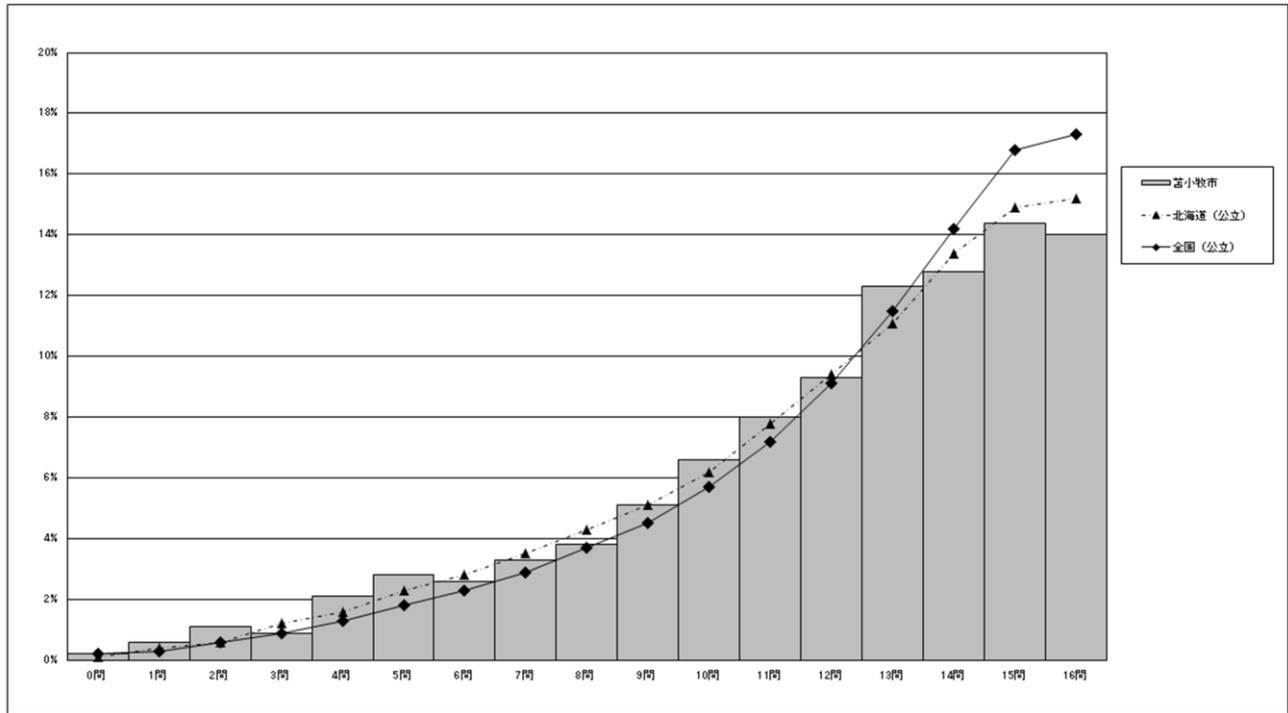
平成28年度全国学力・学習状況調査

小学校調査

調査結果概要 [算数A：主として知識]

苫小牧市教育委員会—児童

正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合）



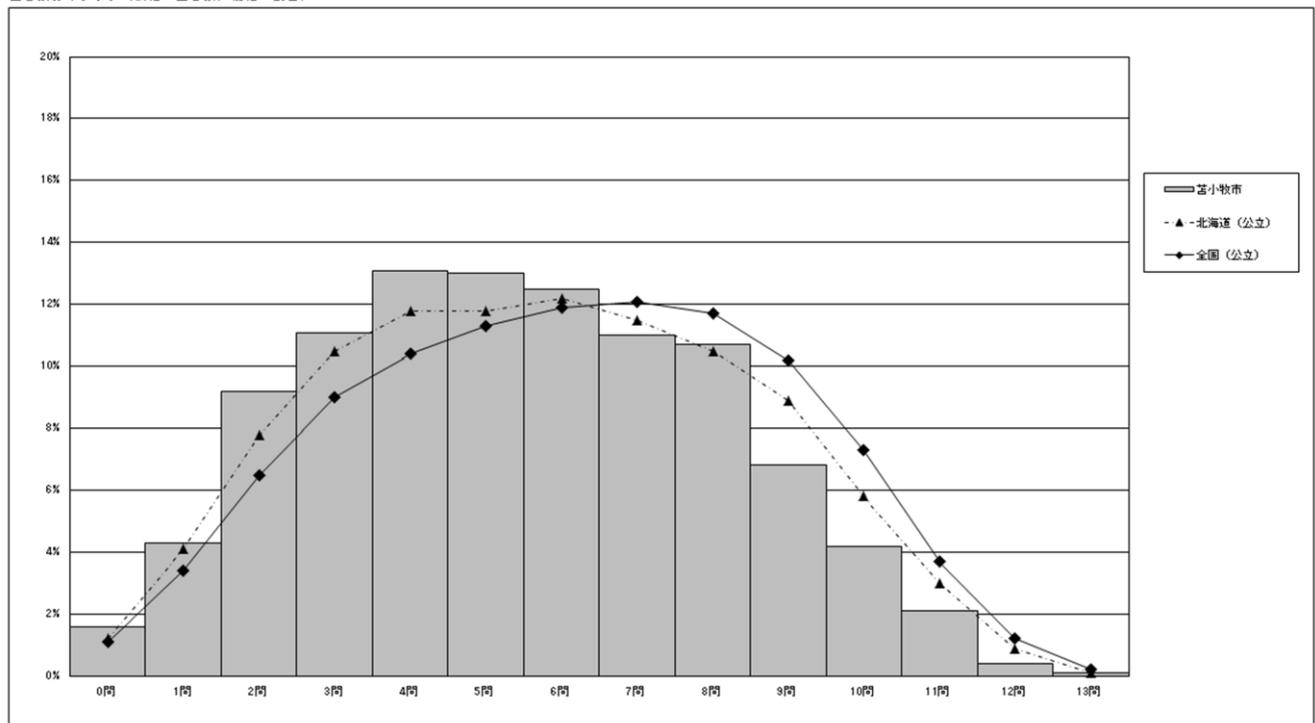
平成28年度全国学力・学習状況調査

小学校調査

調査結果概要 [算数B：主として活用]

苫小牧市教育委員会—児童

正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合）



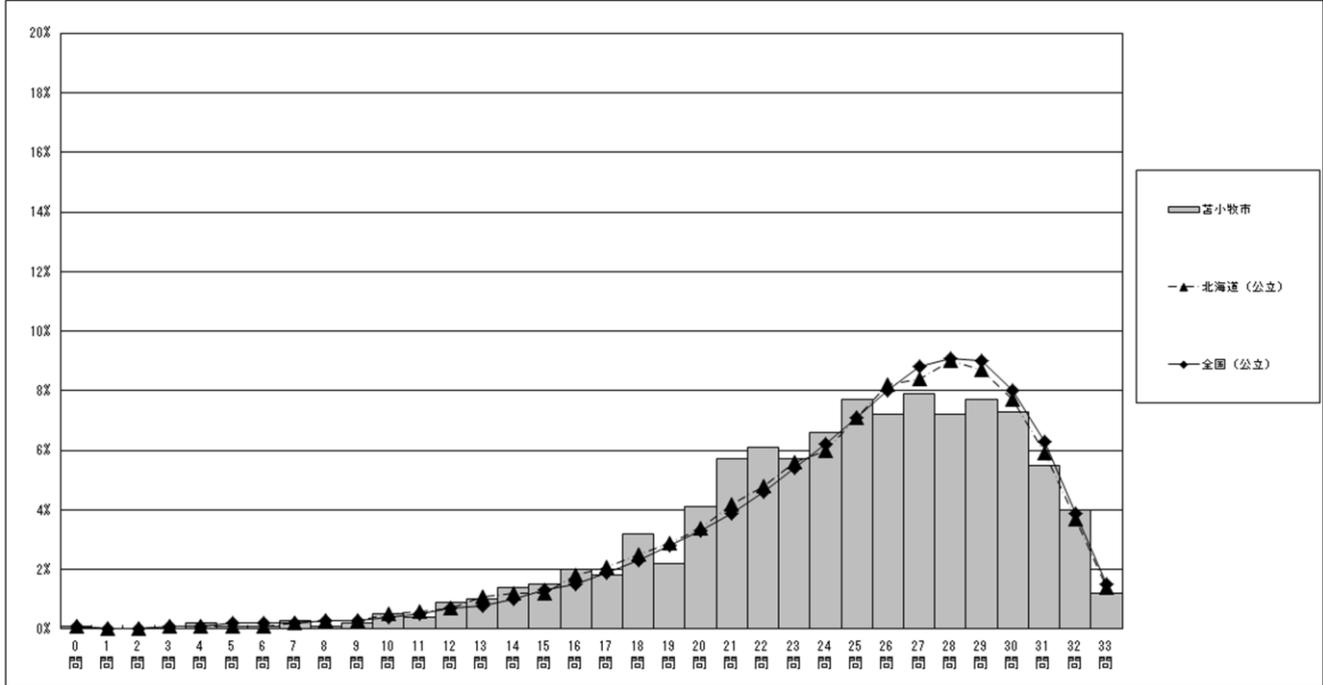
平成28年度全国学力・学習状況調査

中学校調査

調査結果概要 [国語A：主として知識]

苫小牧市教育委員会—生徒

正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合）



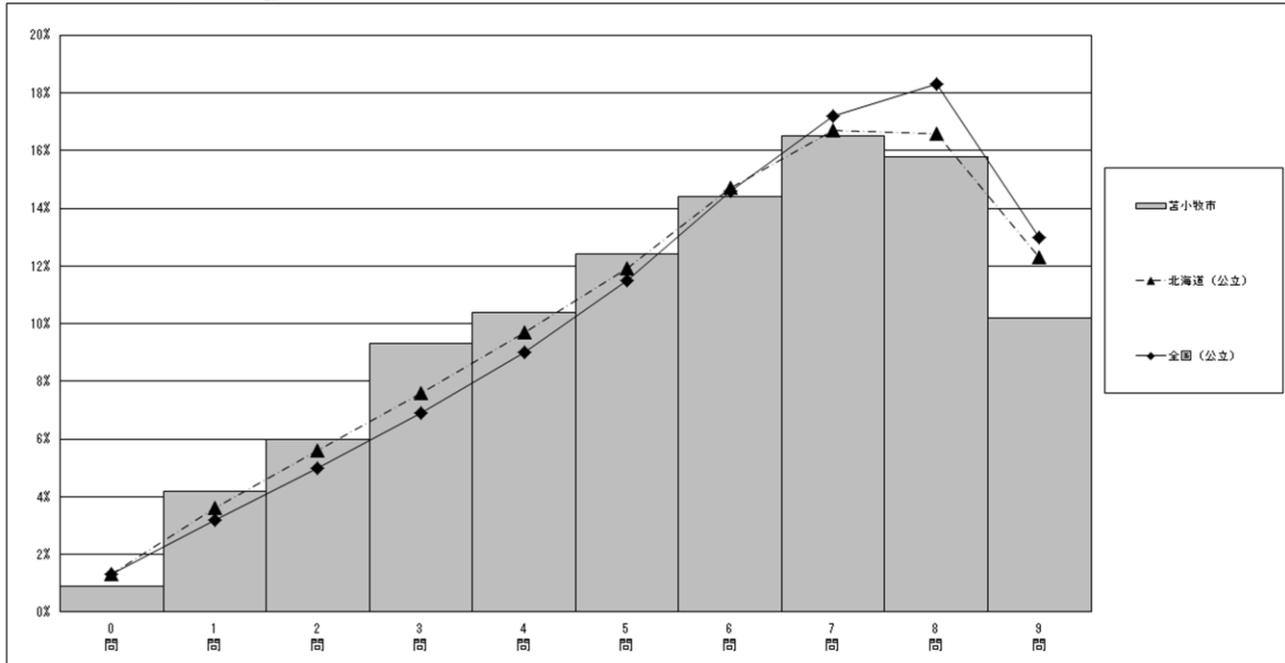
平成28年度全国学力・学習状況調査

中学校調査

調査結果概要 [国語B：主として活用]

苫小牧市教育委員会—生徒

正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合）



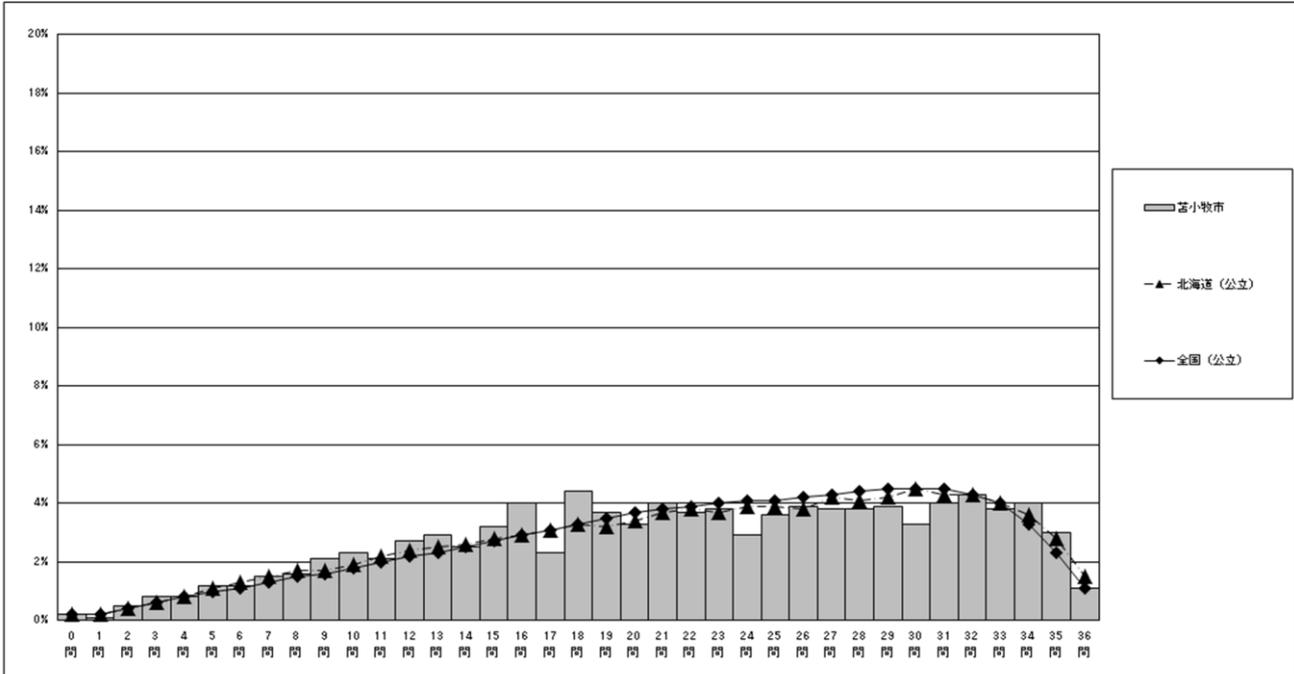
平成28年度全国学力・学習状況調査

中学校調査

調査結果概要 [数学A：主として知識]

苫小牧市教育委員会—生徒

正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合）



平成28年度全国学力・学習状況調査

中学校調査

調査結果概要 [数学B：主として活用]

苫小牧市教育委員会—生徒

正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合）

